

# 2014 Collection of plywood works

第3回全国合板1枚・作品コンペ報告書

主催

公益社団法人 日本木材加工技術協会  
日本合板工業組合連合会  
NPO法人 木材・合板博物館  
日本合板商業組合

# 2014 Collection of plywood works

## 第3回全国合板1枚・作品コンペ報告書

はじめに

実施要項 .....	1
応募作品一覧 .....	4
入賞作品一覧 .....	6
審査委員長講評 .....	8
実行委員長総評 .....	10
入賞作品紹介 .....	11
新聞記事 .....	53
雑誌記事 .....	56
フォトグラフ .....	58
募集チラシ .....	60



# はじめに

第3回全国合板1枚・作品コンペ実行委員長  
横浜国立大学教育人間科学部准教授

小林 大介

「第3回全国合板1枚・作品コンペ」は、第1次応募に85件、第2次応募に81件の作品をご応募いただき、平成26年9月15日（月・祝）に行われた第1次審査、10月25日（土）に行われた第2次審査を経て、11月30日（日）、東京新木場の新木場タワーにて表彰式を行い、同新木場タワー内の木材・合板博物館にて平成26年11月30日（日）から12月25日（木）まで入賞作品展示を行いました。事務局を横浜に移して行う初めてのコンペではありましたが、無事、主行事を終えることができました。後援いただいた林野庁をはじめとし、協賛、後援いただいた関係各団体に心より御礼申し上げます。

合板コンペの歴史を振り返ってみますと、合板1枚・作品コンペは平成22年、当時の日本木材加工技術協会中国支部の山下晃功支部長の発案によりスタートし、島根大学の先生方と中国支部会員の皆様方の総力を挙げて実施されました。そして、島根の地でスタートした合板1枚・作品コンペは平成24年には第2回を開催、島根県内の合板企業や全国の合板製造関連団体のご支援により継続して開催することができました。回を追うごとに応募数も増加し盛況なコンペとなりました。

そして今回の第3回は、「ぜひ合板コンペを関東でも開催願いたい」との要望があり、実行委員会を横浜に移し、私、小林が実行委員長を仰せつかりました。また、首都圏を中心とした大学の先生方や全国の合板業界団体の皆さんなどで実行委員会を構成しました。また、島根で築いた「合板コンペの歴史」を継承するために今回から新たな賞を二つ設けました。1つは「合板1枚・作品コンペ発祥の地 島根」賞とそして「山下晃功 木育」賞です。このように島根で築いた合板コンペの基盤の継承し、さらに発展させることが横浜での第3回合板コンペ開催の大きな意義となりました。

今回の第3回コンペは、公益社団法人日本木材加工技術協会、日本合板工業組合連合会、NPO法人木材・合板博物館、日本合板商業組合の4団体が主催団体となり、また数多くの団体、企業から協賛、後援をいただきました。また、入賞者の方々を含め合板による木工作品を応募していただいた皆さん、そのものづくりを支えていただいた先生方や家族の方々のおかげで第3回の合板コンペも盛況なコンペとなりました。あらためまして、本コンペを支えていただいたすべての方々に感謝申し上げます。ありがとうございました。

# 実施要項

## 1. 「合板1枚・作品コンペ」の開催趣旨

木質材料、木質建材の代表格「合板」が我が国に誕生して、1世紀余りになります。現在では、国内の多くの建築物には合板が使われていないものは無いといっても過言ではありません。そして、多くの合板は、住宅の構造材料のみならず内装材、家具材料として住まいの国民生活をしっかりと大きく支えてきています。

しかし、こんなに身近に、大量に使用され、住宅を支える重要な建築材料の合板であるにも関わらず、その多くは壁の中、屋根裏、床下などで裏方として世の表舞台になかなか登場することがありません。

そこで、この合板1枚・作品コンペでは、合板の魅力を目に見える形で、全面的に活かした建築材料、家具材料、造形材料、ものづくり工作材料、美術・工芸材料、生活材料、教育文化材料など広範囲な分野で、一般生活者の皆様方からお知恵をいただき、よりよい合板の魅力を表現してもらおうとするのが趣旨です。

今日、「国産合板」は「森林・林業基本計画」の目標達成や「東日本大震災の復興」に大きく貢献できます。そして、大気中のCO<sub>2</sub>の合板への固定による地球温暖化防止に貢献し、日本の森林・林業と山村の復興に大きな期待が寄せられているところです。

さらには、合板素材の木材は、地球と人類に優しい「持続可能で再生可能な循環天然資源」でできております。

この地球環境に良い合板の、強さ、美しさ、優しさ、おもしろさ、ユニークさ、繊細さなど多面的な合板の魅力を多くの国民の皆さんによって、引き出していきたいのです。

## 2. 審査基準

本コンペの趣旨を踏まえ、以下の項目を考慮して審査します。

- ①合板の良さ、美しさ、おもしろさなどが活かされているもの
- ②合板1枚を有効に利用しているもの
- ③合板の利用について普及効果があるもの
- ④合板の新たな用途開拓を見出したもの
- ⑤合板の強度特性、物理的特性を活かしたもの

## 3. 応募条件

上記の「審査基準」や下記の「作品規格」に従って、制作したオリジナルで未発表のものであること。著作権、工業所有権を侵害すると判断されたものは除外されません。応募は個人又はグループのいずれでも可能です。

### 【作品規格】

- ①合板1枚とは、板幅90cm×板の長さ180cmの3×6（サブロク）サイズ1枚の面積のことです。板厚は自由です。使用合板は1枚以下でも結構です。ただし、各種の板厚の合板を組み合わせて使用する場合は、合計の面積が90cm×180cm=16,200cm<sup>2</sup>になるように使用してください。
- ②家具金具（丁番、取手、キャッチャーなど）、補強金具、接合金具などは自由に使用できます。
- ③作品に色を塗ったり、絵を描いたり、彫刻、布貼りなどの表面装飾を行うこともできます。
- ④特殊な合板を製造して使用する場合や、特殊な規格の合板を使用する場合は事務局にお問い合わせください。

### 《留意事項》

すべての応募作品の権利（著作権など）は制作者に帰属します。意匠権などの適用によって、自己の作品を保護する責任も制作者本人にあります。しかし、入賞、出展作品の展示及び作品集などの印刷物への使用上の諸権利は主催者に帰属します。作品の返却は送料など自己負担で行っていただきます。

上位入賞作品については、主催団体および関係団体による展示場やイベント会場などでの作品紹介を目的として、寄贈をお願いする場合があります。

## 4. 応募方法

ホームページ<http://gouhancompe.jp>上から1次応募用紙をダウンロードし、応募用紙に、作品の設計図、作品の正面、側面、平面の3方向から撮影した写真、スケッチ（フリーハンドでも可）などで作品の寸法、構造、機能や特徴を記入したものを郵送にて下記の事務局まで締め切り日必着で送付してください。

1次審査合格者の方は、2次審査を作品実物で行います。各自でダンボール箱などで梱包し、所定の用紙（1次審査合格者に合格通知とともに送付します）を

貼り付けて、送料応募者負担で、締め切り日必着で事務局まで送付してください。

#### 応募機関

1次応募期間：平成26年8月25日（月）～平成26年9月12日（金）必着

（作品の書類のみをお送りください）

2次応募期間：平成26年9月24日（水）～平成26年10月10日（金）必着

（作品の実物をお送りください）

#### 応募・送付先、事務局

〒240-8501

神奈川県横浜市保土ヶ谷区常盤台79-2

横浜国立大学教育人間科学部技術教育講座 小林大介

E-mail kobadai@ynu.ac.jp

## 5. 審査結果発表

1次審査結果発表：平成26年9月17日（水）ホームページ上で発表します。

また、1次審査合格者には郵送でお知らせします。

2次審査結果発表：平成26年10月29日（水）10時からホームページ上で発表します。

## 6. 表彰

#### 最優秀賞（林野庁長官賞）

副賞：賞金20万円 1件

#### 公益社団法人日本木材加工技術協会会長賞

副賞：賞金7万円 1件

#### 日本合板工業組合連合会会長賞

副賞：賞金7万円 1件

#### NPO法人木材・合板博物館理事長賞

副賞：賞金7万円 1件

「合板1枚・作品コンペ発祥の地 島根」賞（アイデア、奇抜さ、新規性、おもしろさに優れた作品に贈る賞）

副賞：賞金7万円 1件

「倉澤 實 デザイン」賞（美術彫刻、造形に特に優れた作品に贈る賞）

副賞：賞金5万円 1件

「山下晃功 木育」賞（児童、生徒が合板の特性を活かし、若人らしく工夫・創造し、顕著に努力した力作

に贈る賞）

副賞：3万円分の図書カード 2件（小学生・中学生から各1件）

#### 優秀賞

副賞：賞金3万円 2件

#### 特別賞

副賞：賞金2万円 2件

#### 審査委員特別賞

副賞：記念品 数件

#### 奨励賞

副賞：記念品 数件（大学生以下を対象）

#### 努力賞

副賞：記念品 数件（高校生以下を対象）

\*各賞にはそれぞれ賞状、副賞を贈ります。小学生、中学生、高校生（高専3年生以下を含む）については、副賞の賞金は現金ではなく同額の図書カードにて贈呈します。小学生、中学生、高校生、高専生、大学生、特別支援学校生などはそれぞれの教育課程の特性を配慮して審査します。

## 7. 表彰式

表彰式は木材・合板博物館（東京・新木場）において平成26年11月30日（日）14時から行います。

## 8. 入賞作品展示会

入賞作品を広く紹介させていただくために、表彰式と並行して入賞作品展示会を下記の期間開催します。

日時 平成26年11月30日（日）～平成26年12月25日（木）

場所 木材・合板博物館（東京・新木場）

## 9. 受賞作品の紹介

主催団体、後援団体、協賛団体が責任を持つ誌（紙）面媒体、ホームページにて発表します。

## 10. 主催団体

公益社団法人 日本木材加工技術協会

日本合板工業組合連合会

NPO法人 木材・合板博物館

日本合板商業組合

## 11. 協賛団体

一般財団法人 田部謝恩財団  
 合成樹脂工業協会 接着剤部会  
 一般社団法人 日本木工機械工業会  
 公益財団法人 日本合板検査会  
 国立大学法人 横浜国立大学  
 木育全国生産者協議会  
 学研パブリッシング刊・ドゥーパ！編集部  
 株式会社日刊木材新聞社  
 海青社 他

## 12. 後援団体

林野庁  
 一般社団法人 日本木材学会  
 日本産業技術教育学会木材加工分科会  
 日本木材青壮年団体連合会  
 全日本中学校技術・家庭科研究会  
 公益社団法人 全国中学校産業教育教材振興協会  
 一般社団法人 日本DIY協会  
 全国高等学校建築教育連絡協議会  
 一般財団法人 神奈川県私立中学高等学校協会  
 一般社団法人 埼玉県私立中学高等学校協会  
 公益社団法人 全国工業高等学校長協会  
 一般社団法人 全国高等専門学校連合会  
 開隆堂出版株式会社  
 東京書籍株式会社  
 株式会社テクノ教育 他

## 13. 合板1枚・作品コンペ実行委員会

実行委員長  
 横浜国立大学教育人間科学部准教授 小林大介  
 副実行委員長  
 東京学芸大学准教授（総務担当） 大谷 忠  
 東京大学大学院農学生命科学研究科助教（会計担当） 相馬智明  
 実行委員  
 埼玉大学教育学部教授（審査担当） 浅田茂裕  
 上越教育大学大学院学校教育研究科准教授（報告書担当） 東原貴志

横浜国立大学教育人間科学部教授（審査会場担当） 坂本 智  
 静岡大学大学院農学研究科助教（記録担当） 田中 孝  
 関東学院中学校高等学校教諭（チラシ・ポスター担当） 寺島 徹  
 公益社団法人日本木材加工技術協会会長 服部順昭  
 日本合板工業組合連合会会長 井上篤博  
 NPO法人木材・合板博物館理事長 吉田 繁  
 日本合板商業組合理事長 足立建一郎  
 高根大学名誉教授 山下晃功

## 14. 合板1枚・作品コンペ審査委員会

審査委員長  
 埼玉大学教育学部教授 浅田茂裕  
 副審査委員長  
 高根大学総合理工学部准教授（審査方法の企画立案担当） 吉延匡弘  
 審査委員  
 一般財団法人田部謝恩財団理事長（「合板1枚・作品コンペ発祥の地 島根」賞担当） 又賀航一  
 公益社団法人木材加工技術協会合板部会長・独立行政法人森林総合研究所複合材料研究領域長 塔村真一郎  
 公益財団法人日本合板検査会理事長 河野元信  
 東京おもちゃ美術館館長（「山下晃功 木育」賞担当） 多田千尋  
 一般社団法人日本家具産業振興会会長 加藤知成  
 一般社団法人日本DIY協会専務理事 細矢佑二  
 全国造形教育連盟委員長 永関和雄  
 公益社団法人全国工業高等学校長協会「全国インテリア教育研究会」会長 松本光正  
 NPO法人木材・合板博物館プロデューサー 長谷川麻紀  
 DIYアドバイザー・木工クラフト作家・木工デザイナー 番匠智香子  
 「一枚の合板から」展主宰・建築家 田中敏博  
 「ドゥーパ！」編集長 豊田大作  
 ものづくり大学教授 赤松 明  
 埼玉大学教育学部准教授（「倉澤實 デザイン」賞担当） 石上城行

# 応募作品一覧

カテゴリー	作品名	応募者名	都道府県名・所属
小学生 5件	附小看板（校長室）	松村ひびろ	島根大学教育学部附属小学校
	附小看板（図書館）	伊達優馬	島根大学教育学部附属小学校
	附小看板（夢が広がる図工室）	野坂育見	島根大学教育学部附属小学校
	勉強したくなる机	高砂梨莉	出雲市立平田小学校
	すごいっす	高砂昂河	出雲市立平田小学校
中学生 7件	Book Shelf	大森遥哉	横浜市立岡津中学校
	モアイの本棚	千葉陽生	横浜市立岡津中学校
	森谷聡の棚	森谷 聡	横浜市立岡津中学校
	名前はまだない	菅野真帆	横浜市立岡津中学校
	大きい×2本棚	大江美帆	関東学院中学校
	観賞用棚	弥永 真	関東学院中学校
	作業台	吉田出海	関東学院中学校
	高校生 36件	星型テーブル&イス	祖父江淳志
15匹猫		厚地紗有加	愛知県立名古屋聾学校
眠れる森の美女の城		名古屋聾学校産業 工業科専攻科2年	愛知県立名古屋聾学校
楽ラック		田丸星也	神奈川県立神奈川工業高等学校
butterfly stool		瀧澤真彩	東京都立工芸高等学校
板月（はんげつ）		横尾かな	東京都立工芸高等学校
aツール		田口悠人	東京都立工芸高等学校
charm		菊間彩日	東京都立工芸高等学校
プライウッドデスク		古川雪乃	東京都立工芸高等学校
扇子		森井泰樹	東京都立工芸高等学校
Shelf stool		渡辺恵子	東京都立工芸高等学校
曲下駄		荒井佑一	東京都立工芸高等学校
P-chair		氣田幹久	東京都立工芸高等学校
合板バインダー		小林将隆	東京都立工芸高等学校
シンプルダナ		相澤啓介	仙台市立仙台工業高等学校
棚		岩佐幸汰	仙台市立仙台工業高等学校
WOODセル		上野克博	仙台市立仙台工業高等学校
スタンドランプ		北嶋華子	仙台市立仙台工業高等学校
ブックシェルフ		佐藤麻香	仙台市立仙台工業高等学校
滑り棚		澁谷聡志	仙台市立仙台工業高等学校
合板チェア		原崎謙吾	仙台市立仙台工業高等学校
☐BOX		村上一馬	東京都立田無工業高等学校
シャ・ボン		四宮 藍	東京都立田無工業高等学校
5 WAY		大浦康平	東京都立田無工業高等学校
合板カヌー		國吉裕貴	東京都立田無工業高等学校
からくりワールド		大崎健斗	東京都立田無工業高等学校
wooden windmill		高木悠司	関東学院高等学校
Calm Light		永瀬春花	島根県立出雲商業高等学校
びったんこつみき		金山美咲	島根県立出雲商業高等学校
よちよちさんのお好みぐるま		井上みなみ	島根県立出雲商業高等学校
もりのどうぶつパズル（いろんな形パズル）		中尾日向子	島根県立出雲商業高等学校
神話すごろく		青木玲奈	島根県立出雲商業高等学校
スクールウッドケイ		錦織桃香	島根県立出雲商業高等学校
アーチチェア		吉原直樹	静岡県立科学技術高等学校
手動扇風機		北村峻基	静岡県立科学技術高等学校
四季×四気		山本真緒	静岡県立科学技術高等学校

カテゴリー	作品名	応募者名	都道府県名・所属
大学生 14件	トレイン傘立て	市橋 涼	横浜国立大学
	ウッドスピーカー	富澤健太	横浜国立大学
	小物入れ	澤田雅樹	横浜国立大学
	飾り棚	佐々木浩人	横浜国立大学
	くつ棚	林 敬徳	横浜国立大学
	おしゃべり椅子	渡部紫苑	島根大学
	木組みチェア	木下雄貴	埼玉大学
	棚	本田稔貴	宮崎大学
	もくもくチェア	平間慎吾	山形大学
	樹の棚	小竹利幸	島根大学
	ドッチもドロアー	荒井まゆ	宮崎大学
	重なる本棚	菊池宏介	横浜国立大学
	Fifteen Colors Cube	今村圭吾	横浜国立大学
	AMIDA Shelf	貝沼隆志	横浜国立大学
大学院生 6件	lotus lamp	中 太郎	東京大学大学院
	木縁 - mokufuchi -	堀越ふみ江	東京大学大学院
	彩・リビングラック	杵村 江	東京学芸大学大学院
	合板のロボット (ロボG)	黒田賢太郎	横浜国立大学大学院
	Wood Shelf Tree	繁里将太	横浜国立大学大学院
	スピーカー一体型・折り畳み式椅子	中村浩士	上越教育大学大学院
一般 17件	卍 BLOCK	白鳥 孝	北海道
	ZENI CUBE	白鳥 孝	北海道
	もりのいりぐち	高橋恭子	島根県
	UFOスツール	北村茂之	三重県
	花は咲く	奥村卓三	島根県
	グレープの壁飾り	管田英武	島根県
	仲よし四人組のための勉強机 ～世界は支えあい大切です！～	内藤茂樹	兵庫県
	引き出しつきプチテーブル	高橋佐知子	島根県
	水槽♪	門田祥吾	愛知県
	TDB-50	砺波浩二	富山県
	ローリングカー	花田修三	島根県
	ミミちゃんタワー	宮田 咲	神奈川県
	ファイブスツールズ	神田俊一	神奈川県
	不つり合い	中山哲次	愛知県
	八角堂のパン小屋	山崎香苗	神奈川県
	マーブルパズルクッキー	三島武徳	島根県
	エアケイ	松永欣也	神奈川県



## 入賞作品一覧

賞名	作品名	応募者名	年齢	都道府県名・所属	共同制作者
最優秀賞 (林野庁長官賞)	花は咲く	奥村 卓三	72	島根県	
公益社団法人 日本木材 加工技術協会会長賞	水槽♪	門田 祥吾	28	愛知県	木林昭夫、 井桁勝人
日本合板工業 組合連合会会長賞	アーチチェア	吉原 直樹	16	静岡県・静岡県立 科学技術高等学校	
NPO法人 木材・ 合板博物館理事長賞	TDB-50	砺波 浩二	54	富山県	
「合板1枚・作品コンペ 発祥の地 島根」賞	板月 (はんげつ)	横尾 かな	18	東京都・東京都立 工芸高等学校	
「倉澤 實 デザイン」賞	水槽♪	門田 祥吾	28	愛知県	木林昭夫、 井桁勝人
「山下晃功 木育」賞	附小看板 (校長室、 図書館、夢が広がる 図工室)	島根大学 教育学部 附属小学校 ちどり 造形クラブ	9～12	島根県・島根大学 教育学部附属 小学校ちどり 造形クラブ	松村ひびろ、葛上智暁、 高橋祐衣、山口善大、 伊達優馬、南山琳咲、 山辺咲希穂、安部聡美、 吉田百花、野坂育見、 海出 遥、長谷川もも、 安藤龍哉
優秀賞	ZENI CUBE	白鳥 孝	45	北海道	北海道小樽工業 高等学校建設科
優秀賞	星型テーブル&イス	祖父江 淳志	20	愛知県・愛知県立 名古屋聾学校	
特別賞	15匹猫	厚地 紗有加	20	愛知県・愛知県立 名古屋聾学校	
特別賞	グレープの壁飾り	管田 英武	72	島根県	
審査委員特別賞	仲よし四人組の ための勉強机 ～世界は支えあい が大切です！～	内藤 茂樹	40	兵庫県	
審査委員特別賞	lotus lamp	中 太郎	24	東京都・ 東京大学大学院	
審査委員特別賞	a スツール	田口 悠人	18	東京都・東京都立 工芸高等学校	
審査委員特別賞	曲下駄	荒井 佑一	18	東京都・東京都立 工芸高等学校	

賞名	作品名	応募者名	年齢	都道府県名・所属	共同制作者
奨励賞	シャ・ボン	四宮 藍	16	東京都・東京都立 田無工業高等学校	
奨励賞	手動扇風機	北村 峻基	17	静岡県・静岡県立 科学技術高等学校	
奨励賞	charm	菊間 彩日	17	東京都・東京都立 工芸高等学校	
奨励賞	眠れる森の美女の城	名古屋聾学校 産業工芸科専攻科2年	20	愛知県・愛知県立 名古屋聾学校	厚地紗有加、石川達也、 榊原香菜
奨励賞	樹の棚	小竹 利幸	19	島根県・島根大学	
奨励賞	もくもくチェア	平間 慎吾	23	山形県・山形大学	
奨励賞	木組みチェア	木下 雄貴	21	埼玉県・埼玉大学	岸野雅之、高田大志、 堀田祐貴
奨励賞	彩・リビングラック	杵村 江	23	東京都・東京学芸 大学大学院	松田仁志
努力賞	☐BOX	村上 一馬	17	東京都・東京都立 田無工業高等学校	
努力賞	Calm Light	永瀬 春花	18	島根県・島根県立 出雲商業高等学校	
努力賞	シンプルダナ	相澤 啓介	18	宮城県・仙台市立 仙台工業高等学校	久本貴士
努力賞	作業台	吉田 出海	15	神奈川県・関東学院 中学校	
努力賞	森谷聡の棚	森谷 聡	12	神奈川県・横浜市立 岡津中学校	
努力賞	楽ラック	田丸 星也	18	神奈川県・神奈川県立 神奈川工業高等学校	佐藤康雄
努力賞	WOODセル	上野 克博	17	宮城県・仙台市立 仙台工業高等学校	
努力賞	滑り棚	瀧谷 聡志	17	宮城県・仙台市立 仙台工業高等学校	
努力賞	合板カヌー	國吉 裕貴	16	東京都・東京都立 田無工業高等学校	木下裕介

# 審査委員長講評

埼玉大学教育学部教授

浅田 茂裕

平成26年10月25日、横浜国立大学において第3回全国合板1枚・作品コンペの二次審査会が開催されました。今回のコンペでは、一般、ジュニアといったカテゴリーを無くしたこと、専門家も美術や工芸を学ぶ中学生、高校生、大学生が一線に並んで大賞を目指す方式に変更したこと、大賞の副賞賞金額を大幅に増額したことなど、いくつかの変更がありました。

最も大きな変更は、第1回、第2回とこのコンペを開催していただいた島根大学から、横浜国立大学へ事務局を移し、開催の案内から審査、表彰までを行うことにしたことでしょう。初めての関東開催で事務局、審査員ともに応募作品数の大幅減少を心配しておりましたが、80件を超える多数の応募をいただき、しっかりと審査を行うことができ、質の高い作品の選出ができたと考えております。

なお、事務局の移転に伴い、これまでの開催地でありました島根県に敬意を表し、「合板1枚・作品コンペ発祥の地 島根」賞を、また、このコンペの企画、立ち上げ、運営についてこれまで多大な貢献をいただきました島根大学名誉教授山下晃功先生の功績を讃え、「山下晃功 木育」賞を創設し、地球環境時代における木材利用、合板利用をけん引する新たな力の発掘、奨励をさらに進めることといたしました。

さて、このコンペの趣旨は、建築、家具、美術・造形、ものづくりやDIYそして教育など他分野の参加によって、合板の魅力を再発見しようとするものです。今回の応募作品も、机や椅子、キャビネットなどの家具だけでなく、造形美にあふれる作品、加工技術に優れた作品など多様なものでありました。

審査委員会では、合板をキーワードとして集まった各界の専門家により慎重に協議を進め、大賞1点をはじめとして、各賞にふさわしい32作品を選出しました。以下、主立つ賞について、コメントならびに審査委員

会での意見を述べたいと思います。

なお、ご紹介にあたっては、共同制作者のご紹介は省略させていただきます。

**最優秀賞(林野庁長官賞)「花は咲く」奥村卓三 (島根県)**

この作品は、圧倒的な存在感とその精緻な技術力が多くの審査員に支持されました。緩やかで美しい曲線で空に向かって開いた大きな花は、1枚の合板から切り抜かれたとは思えないほどの仕上がりです。合板の断面の積層模様もアクセントとして生かされており、このコンペの趣旨に最も相応しい作品として評価されました。

**公益社団法人日本木材加工技術協会 会長賞 「水槽」 門田祥吾 (愛知県)**

本来、木材と水は相性のいいものではありません。

この作品はそうした常識に囚われず、自由に構想され、確かな技術によって製作されたものです。水槽内の仕上げ、目止めも丁寧にされ、ゆっくりと揺れる水槽の中で金魚が泳ぐ姿を想像するだけで楽しくなります。なお、この作品は、最も美術・造形として優れた作品に贈られる「倉澤 實 デザイン」賞にも選ばれました。

**日本合板工業組合連合会会長賞 「アーチチェア」 吉原直樹 (静岡県)**

一切の接合をせず、切り抜きと曲げだけで製作されたこの作品は、高校生のデザインとは思えぬ流麗さを備え、合板1枚の秘めた可能性を最も強く感じさせてくれました。新しい技術、創造の芽として高く評価されました。

**NPO法人木材・合板博物館理事長賞 「TDB-50」 砺波浩二 (富山県)**

細部にわたって精巧に仕上げられ、合板の積層模様が洗練された美しいフォルムと調和しています。ス



ピーカーとして音が聴けなかったのが残念でしたが、合板と音を組み合わせた素晴らしい作品です。

**「合板1枚・作品コンペ発祥の地 島根」賞 「板月（はんげつ）」横尾かな（東京都）**

今回から新設されたこの賞は、アイデア、奇抜さ、新規性、おもしろさに優れた作品へ贈られるものです。多くの作品がある中で、最も日本の美、和を感じさせてくれた作品です。シンプルな構造ですが、その柵板部分に季節の草や花を置くことでまた別の風景を生み出してくれそうです。合板だからこそ実現する作品の一つでしょう。

**「山下晃功 木育」賞 「附小看板（校長室、図書館、夢が広がる図工室）」島根大学教育学部附属小学校ちどり造形クラブ**

この賞も新設されたものですが、児童・生徒が合板の特性を活かし、若人らしく工夫・創造し、顕著に努力した力作に贈る賞になります。今回の作品は、造形クラブの子どもたちが、自分たちの校舎内の案内板のアイデアを持ち寄って完成させたものです。校長室、図工室、図書館の3種類が出品されましたが、学校内のすべてに広がり、楽しい学校生活を実現されることを期待しています。

**優秀賞 「ZENI CUBE」白鳥 孝（北海道）**

Zの文字を組み合わせた作品で、非常に素晴らしい仕上がり・精度を実現した技術と合板の特徴をしっかりと活かした点が高く評価されました。

**優秀賞「星型テーブル&イス」祖父江淳志（愛知県）**

五角形のテーブルと三角形のイスを組み合わせた愛らしい形、効率的に収納できる実用性、さまざまに発展しうる可能性が高く評価されました。

**特別賞 「15匹猫」厚地紗有加（愛知県）**

15匹の猫が丁寧に抜き取られた組み木パズルは、ユーモラスな猫の表情が心を豊かにしてくれます。仕上げ、塗装を含め丁寧な仕事も印象的でした。

**特別賞「グレープの壁飾り」管田英武（島根県）**

ぶどうの球果をつなぐ合板を1つずつ曲げ、丁寧につないであります。色彩の美しさはもちろん、合板の性質や加工方法をよく理解された作品といえるでしょう。

以上、上位10作品について、印象と審査委員会でのコメントを思い出しながら講評を行いました。しかし、審査委員特別賞、奨励賞、努力賞、そして残念ながら選に漏れた作品の中にも、合板の新しいアイデアや可能性を感じさせる取り組みを見出すことができました。芸術、生活、技術、科学などさまざまな観点から評価することで、合板の新しい可能性の一端を皆さまに紹介できたかと思います。

最後になりましたが、入賞者の皆さまに心からお祝いを申し上げますとともに、このコンペのさらなる発展と継続を希望し、私の講評とさせていただきます。

# 実行委員長総評

横浜国立大学教育人間科学部准教授

小林 大介



今回の第3回全国合板1枚・作品コンペで特徴的なことは、第1回、第2回で設定されていた「ジュニアの部」、「一般の部」を廃止したことです。第2回の合板コンペの応募者から「ジュニアの部」に属する年齢の方の中にも「一般の部」で勝負したかったとの意見があったこと、高校生、高専生、大学生をカテゴリーや年齢で区切るのは非常に難しいこと等を考慮し、すべての応募者に一律に最優秀賞（林野庁長官賞）を目指していただくために部門を廃止しました。今回のコンペでは、高校生や聾学校の高等部の方々の中から非常にレベルの高い作品が多く寄せられ、更にそれらが上位の賞に食い込む健闘を見せたことで部門を廃しても十分に高校生以下の児童、生徒が入賞できることを示してくれました。ただし、現状では、小学生、中学生が高校生以上と肩を並べて勝負するには難しい面もあることも承知していましたので、新設した「山下晃功 木育」賞を小学生、中学生を対象として特化し、奨励賞を大学生以下、努力賞を高校生以下とし、小学生、中学生でも日頃の学校や家庭でのものづくりの範疇で入賞できるようにいたしました。今回は、「山下晃功 木育」賞を小学生の3作品が、努力賞を中学生の2作品が受賞されました。

今回のコンペに応募された方（共同制作者は含まず）

の所属別の応募数ですが、小学生が5件、中学生が7件、高校生（聾学校高等部を含む）が36件、大学生大学院生が20件、一般の方が17件の計85件でした。島根より横浜に事務局を移したことで、島根の方々からの応募が減少することが懸念されましたが、前回までと同様にたくさんの応募をいただき、最優秀賞をはじめ、多くの方々が入賞されました。一方、小学生、中学生の作品が11件とあまり多くありませんでした。本コンペの広報不足もあるかと思いますが、小学校の図画工作科、中学校の技術・家庭科（技術分野）において、本コンペに応募するような時間的な余裕が感じられないことも理由の1つかと思います。特に中学校では限られた授業時間数の中でなかなか自由なものづくりを行う時間がないことがあるようです。ものづくり立国である日本において、この状況には危機感を覚えます。第4回開催に向けて、小学校、中学校の児童・生徒が応募しやすくなるような具体的な支援が必要であると感じています。逆に高校生の作品が応募数の約半数を占め、しかもレベルの高さが目立ちました。椅子などの実用品のみならず、オブジェのような作品の応募も多く、今回の開催趣旨である合板の多面的な魅力を引き出した作品が多く見られました。一般の方々の作品は17件とあまり多くありませんでしたが6件が入賞しました。常連の方の入賞も多く、その豊かな発想、加工の確かさなどさすがという作品が多く見られました。

今後もコンペを継続して開催していく上で、多くの作品の応募が欠かせません。広報や支援の方法等の課題を克服し、より活気のあるコンペを目指していきたいと考えます。

# 2014 Collection of plywood works

第3回全国合板1枚・作品コンペでの入賞31作品を紹介します。

# 花は咲く

奥村 卓三 おくむら・たくぞう ● 島根県 / 72歳

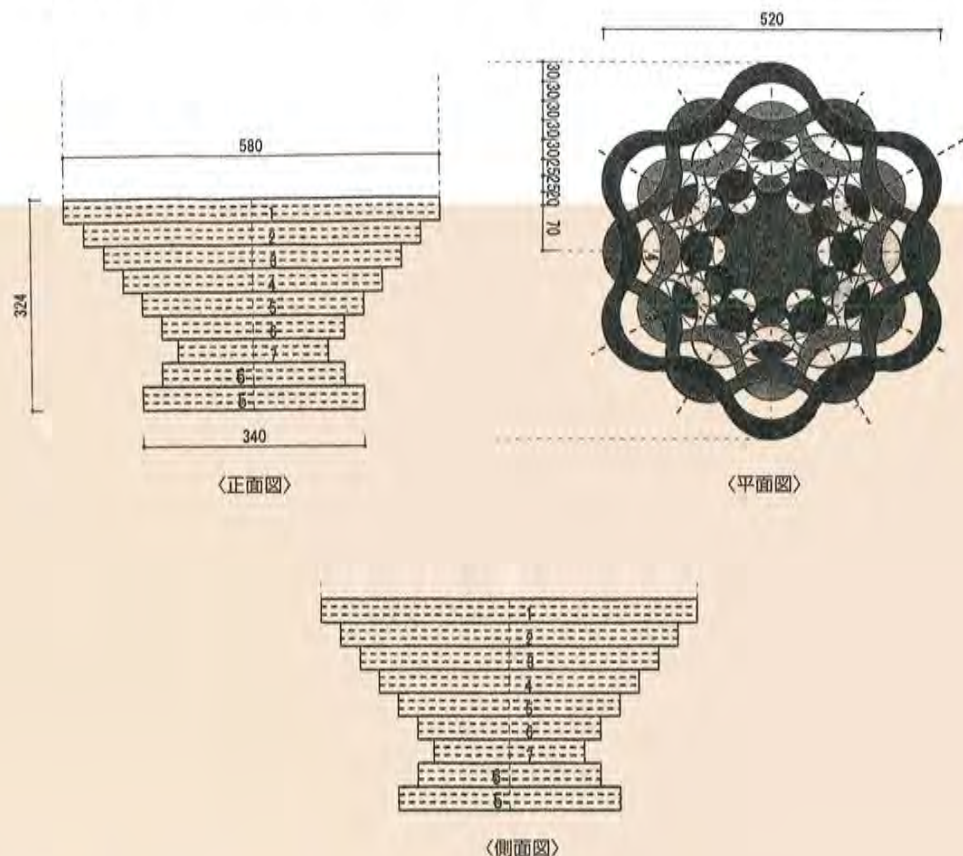
## ○アピールポイント

中に入れる花器の底部の直径が140、180、230、280、340ミリと5種類の花器に適合できるのが面白いところです。

また、普通は大きい開口部は上向きで使用しますが、場合によってはこちらを下向きに使用することも可能です。

## ○制作のポイント

- ・この作品の発想は東京オリンピックが決定したとき、五輪のマークを図案化し花のようにならうと考えました。
- ・図面を描く段階では花卉に相当する模様の幅を15ミリから50ミリまで図を描き作品全体の幅と模様のバランス見て1～3段は30ミリ、4～5段と9段は25ミリ、6と8段は20ミリ幅に決め、図を拡大コピーし60cm四方の合板3枚に貼り付けた。
- ・3枚を接着後に切断する方法もありますが、切断面が斜めになる可能性があるので1枚1枚切断した。
- ・接着する3枚の切断面は相当凹凸になっており、まとめてスピンドルサンダーできれいにするのにかなりの時間を費やした。
- ・1段目と2段目で接着面積の小さい所は2段目の1枚の3か所を木ねじで固定したのち2枚を接着して2段目が終わり、以後同じように3段目、4段目と積み上げていきました。



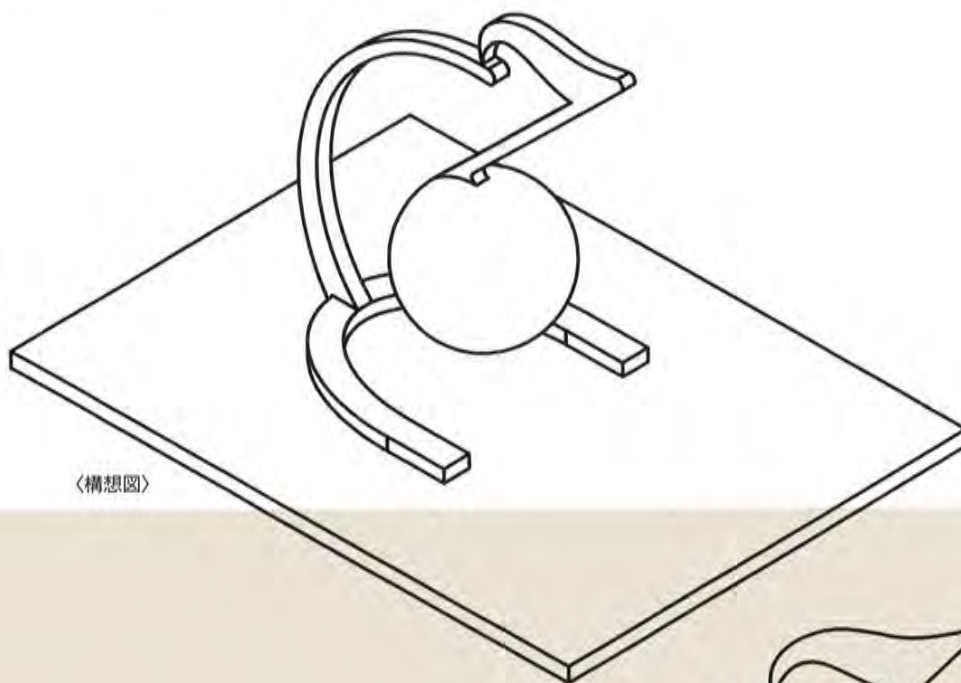




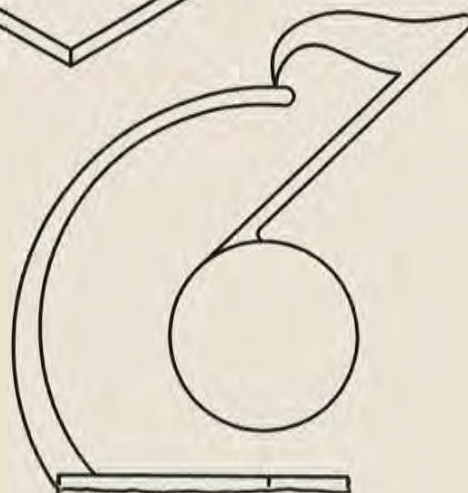
## 水槽 ♪

門田 祥吾 かどた・しょうご ●愛知県 / 28歳 〈共同制作者〉木林昭夫、井桁勝人

この作品の最大の特徴は、合板で作った水槽という所です。合板は昔から、張り合わせているものなのですぐはがれてしまうというイメージがついているように感じます。実際、昔建てられた納屋などに使われている合板は、はがれている所が多いです。しかし、それも昔の合板が使用されているためで、現在生産されている合板は、フェノール糊が使用され耐久性、耐水性共に、昔とは比べ物にならないほど優れています。今回はその耐水性に着目して、水槽を製作してみようと考えました。ただの水槽ではつまらないので、形にもこだわり、音符の形にすることで揺れるように設計しました。そして、側面に設けた窓は覗き穴のようになっていて、中には何が入っているのかなと好奇心をもって覗いていただけたらと思っています。ただ、この音符の形にするにはとても加工が難しく、少しでも気を抜いて削りすぎたりすると始めからやり直しになってしまうので、全く気を抜くことが出来ない作業でした。



〈構想図〉



〈正面図〉

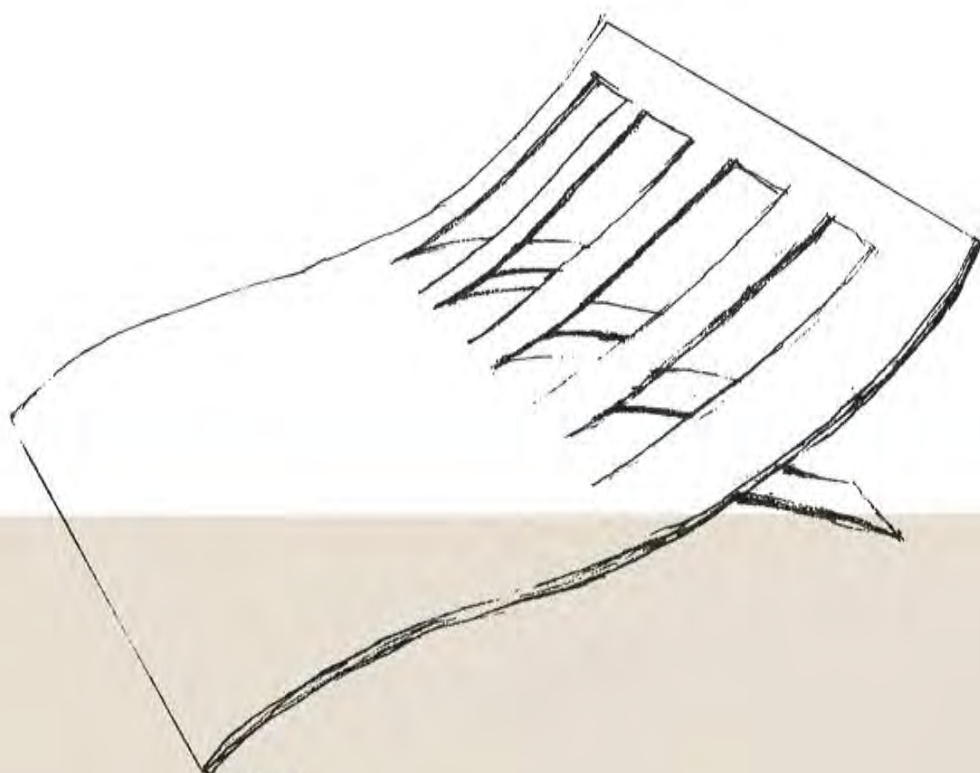


## アーチチェア

吉原 直樹 よしはら・なおき●静岡県/16歳

合板の曲がる性質を生かし、丸くやわらかいデザインにした。人との時間を楽しむというよりは、個人の休養のための椅子で、足を伸ばすと、体重をかければ座る部分と背もたれが少し沈み、安全でとても快適なものになります。

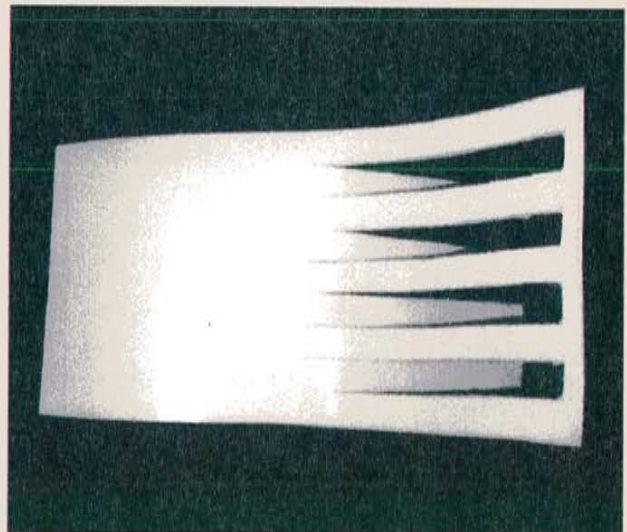
ジグを造る際、上の型と下の型に厚みのズレが出来てしまい、曲げたときの接着が上手くいかない部分が生じて、修正に時間がかかった。



〈構想図〉



〈正面図〉

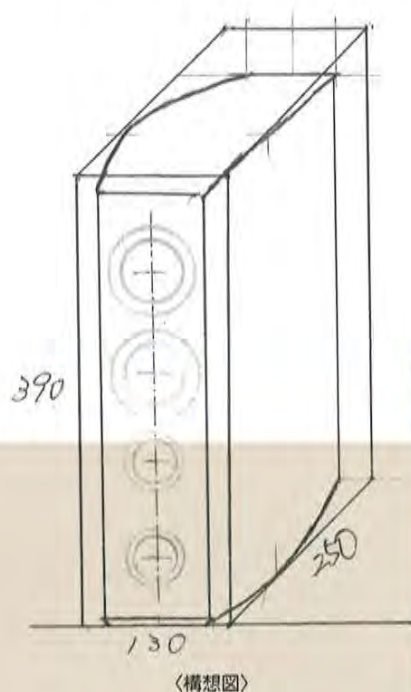


〈平面図〉

# TDB-50

砺波 浩二 となみ・こうじ ●富山県 / 54歳

第3回となる当コンペのポスターをたまたま見かけて初めて存在を知り応募しました。今までに製作したスピーカーは合板をカットして組み立てる箱で製作が簡単な半面、形がありきたりのつまらないものでした。また小口が目立つのでツキ板を貼ったりしていました。そこで合板を貼り合わせて積層とすることで自由な形が造れないかなと思い製作しました。ただ製作作業としては枚数が多く、ひたすらドリルでの穴開け、カンナとやすりで削って形を造り、延々とサンドペーパーがけという延々と続く地道な作業が辛かったです。最後にオイルで数回塗ると小口が綺麗な縞模様となって鮮やかに浮き上がり、これが合板の魅力でもあるんだと再確認しました。正面に装飾として貼ったブラックウォールナットのツキ板の濃い色ともうまく合いました。反省点としては、このスピーカーはTVやPC用を想定して設計しましたが、低音の量感を増すためにもう一回り大きくしてもよかったかなと思います。また、もっと時間があればさらに曲線を多用したどこにもない綺麗な形を造れたんじゃないかと思っています。





## 板月(はんげつ)

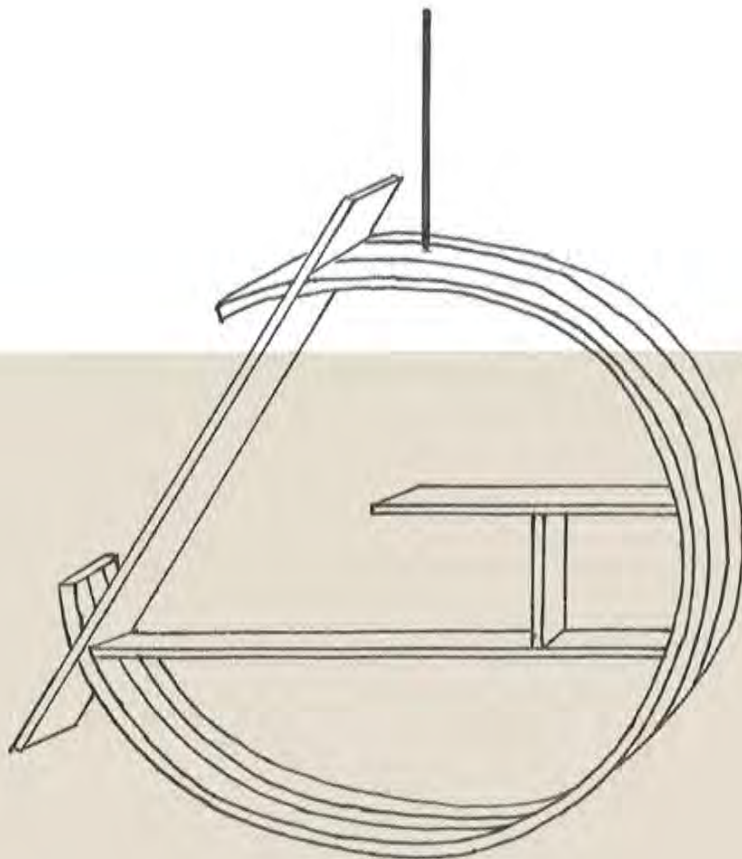
横尾 かな よこお・かな●東京都/18歳

合板が日本の風土に適した材であることを生かした作品です。

この作品には合板の日本との相性の良さ、無垢材とは違った美しさをもっと知ってもらいたいという思いが込められています。

この作品を制作するにあたって、「和室で主役になるインテリア」をコンセプトにデザインにたくさんの工夫を凝らしました。特に、合板の加工性の良さを生かした造形、和の空間と調和するデザイン、という点には私なりのこだわりが詰まっています。

製作作業では手作業での曲げ加工に大変苦勞し、この作品の制作で一番印象に残っています。曲げている途中で割れやゆがみなど、思い描く形になるまで多くの失敗を経験しました。理想の形を作り上げられた時は苦勞した分とても嬉しく、多くの失敗を経験したことも私の糧となり成長につながったと感じました。成形合板の技術が発達している中で手作業での曲げ加工を行ったことは、自らの合板の加工技術、知識をより一層深めることができ作品の製作を通して大きな収穫となりました。自分なりに合板の魅力を引き出すことができたので、満足のできばえの作品です。



〈構想図〉





## 附小看板(校長室、図書館、夢が広がる図工室)

### 島根大学教育学部附属小学校ちどり造形クラブ

松村ひびろ、葛上智暁、高橋祐衣、山口善大、伊達優馬、南山琳咲、山辺咲希穂、安部聡美、吉田百花、野坂育見、海出 遥、長谷川もも、安藤龍哉●島根県/9~12歳

私たちは、小学校で実際に使ってもらえる木の案内板を作りました。みんなで相談して、『校長室』、『図書館』、『図工室』の看板にしました。

『校長室』は、校長先生の顔をモデルにしています。なるべく校長先生に似るように目や鼻の形を考え、眼鏡は取り外しができるようにしました。学校の中庭のシンボルでもある大きなヤマモモの木の枝を切って、ふちの部分に使いました。

『図書館』は、学校の司書さんの顔を、さまざまな木材で作りました。私たちの図書館のマスコットキャラクターである「ブックン」もつけて、みんなに注目してもらえるようにしました。色を塗るときに細かいところまで気を付けて色をつけました。

『図工室』は、かなづちなどの図工の時間に使うものを、工夫して看板の中に並べました。みんなが楽しい気持ちで図工室に来られるようにと考えながら作りました。

グループに分かれて、いろいろなアイデアを出し合いながら考えて作ったのが、とてもおもしろかったです。私たちが卒業した後も、学校で後輩たちが使ってくれるとうれしいです。



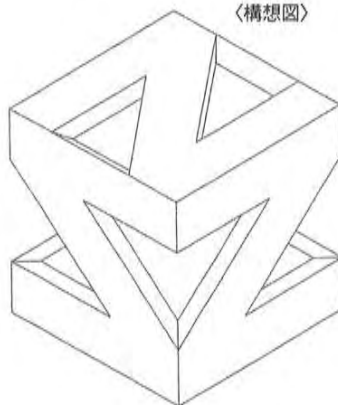


# ZENI CUBE

白鳥 孝 しらとり・たかし●北海道/45歳  
〈共同制作者〉北海道小樽工業高等学校建設科

北海道小樽にある銭函という縁起の良い地名にちなんだ現代の縁起物を作ろうというプロジェクト。ZとNが共通する形であることに気づき、展開して箱形に組み合わせております。精度の高いカットが必要とされ、木口4面に正確な45度のテーパークットをする事で、キューブが成立します。材料の厚みが増すごとにZ型の切り抜きにおいて入隅のカットが大変な加工で、テーパーにカットされた木口を三方留めしながら組立、仕上げをするのはシンプルに見えて難しい作業です。今回は全国的にも入手しやすいシナランバー材24mmを使用しておりますが日本各地の様々な木材を使用し新たな木工教育の普及に役立てればと思います。このキューブのコンセプトは「ZeroからNew stageへ」ZENI CUBEに座って写真を撮ると縁起が良くなる！という伝説で、皆さまにとって新しい縁が起きることを期待しております。

〈構想図〉



〈正面図〉



優秀賞

## 星型テーブル&イス

祖父江 淳志 そぶえ・あつし●愛知県/20歳

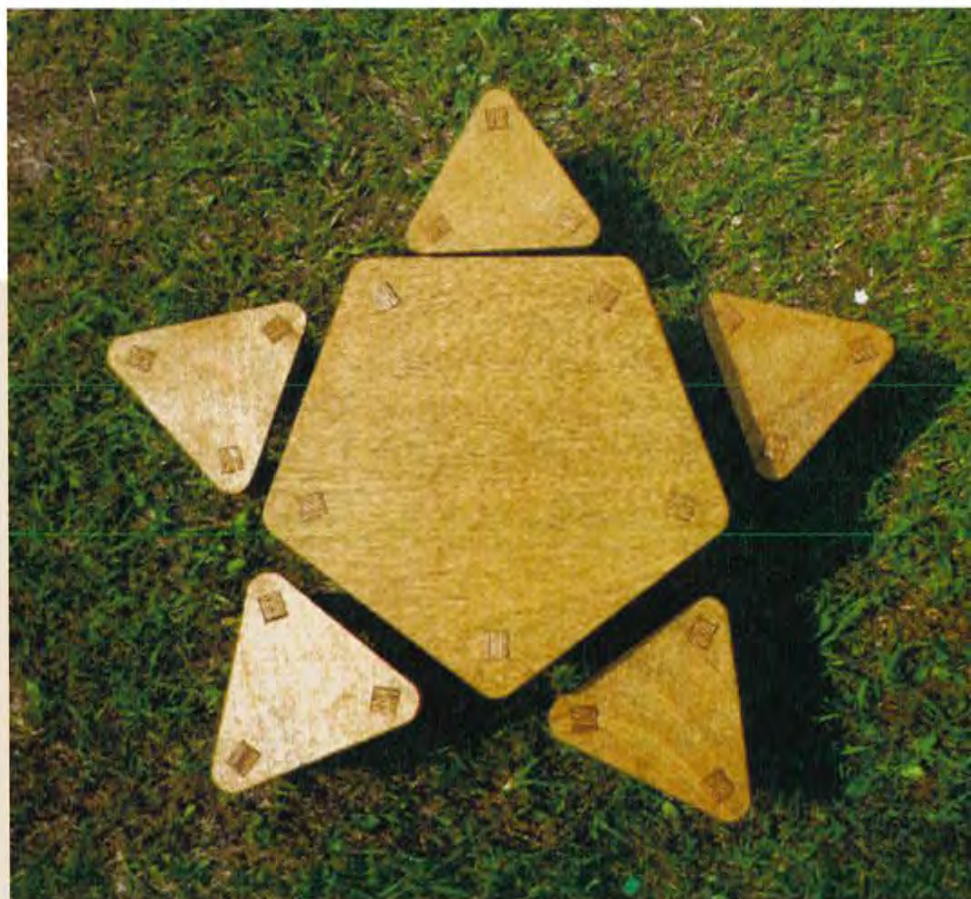
この作品が完成したとき、大人が座って壊れないか心配で、最初に自分で座ってみました。私は前回の第2回全国合板1枚・作品コンペに先輩たちが入賞したことを聞き、先輩に引き続き、入賞したいという気持ちで応募しました。

この作品を作ろうと思ったきっかけは、簡単で使いやすく子どもや大人でも楽しめることをテーマとして考え、このテーブルとイスを思いつきました。

この作品は、イスを出すと星形に見えるように工夫し、またしまくと五角形になります。ほぞつぎを使って作っており、割れないようにしっかりとはめるところが大変でした。色は自分が落ち着くブラウンにしました。

しっかりとした安定感があり、安心しました。また、テーブルにきれいにイスが収納できて良かったと思いました。

この作品に子どもたちが座って、楽しく遊んでくれたらうれしいです。



〈平面図〉



# 15匹猫

厚地 紗有加 あつち・さやか●愛知県/20歳

私は猫が大好きで小さい時から猫を飼っていました。現在も3匹を飼っています。

1匹目は人見知りで認めた者しか甘えない性格。

2匹目は雌だからか分かりませんが、女らしくてかわいくて優しいけど人見知りの性格。

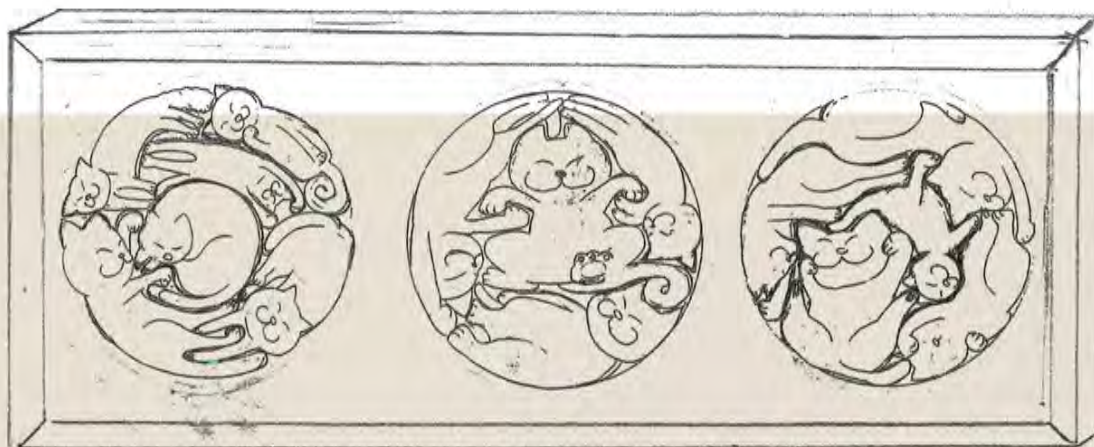
3匹目は体がたくましくて喧嘩が強そうな顔をしているのにすごく甘えん坊で、とても優しい性格です。

猫も人間と同じように育ち方や環境で性格も違ってきます。それぞれ個性があり、とてもかわいいのです。その個性を表したいと思い色々な15匹の猫を作りました。

そして、子どもでもパズルとして遊べ、またインテリアとしても飾ることができるようにしました。

猫の絵を描くのは簡単でしたが、糸ノコで細かい部分を切る時はとても大変でした。しかし、完成できた時はすごくうれしかったです。

これからもただ作品を作るだけではなく、何かメッセージを伝えることの出来るような物を作りたいと思っています。



〈構想図〉





## グレープの壁飾り

管田 英武 すがた・ひでたけ●島根県/72歳

昨秋（2013年）島根県技能祭に行った折、建具組合のコーナーで「組子」を使った色々な模様の作品が展示され、その見事さに深く感動しました。

「組子」とは、格子や障子に組込んだ細い材の事だそうですが、合板にも応用できないか考えた末、

- ・組子模様をシンプルにする
- ・丸い駒を継手として使う

の2点をポイントに挑戦してみました。

組子パーツは、水でぬらした薄い合板を電子レンジ（80℃）でチンして曲げ、円筒状（60φ）の容器に入れて2週間かけて乾燥、成型します。

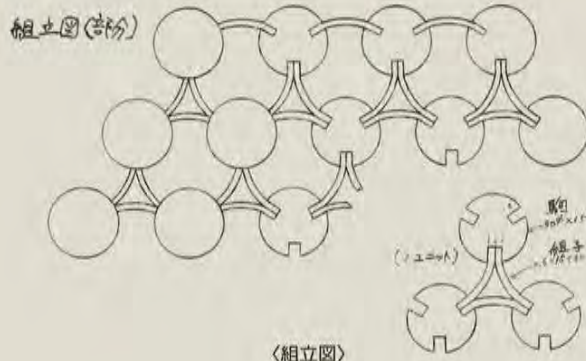
駒は10個ずつBOX型のジグに入れ、円周3等分の位置に2～3カ所トリマーで切込みを入れます。

最初は失敗の連続でしたが、試行錯誤の結果、大きな一房のぶどうが実りました。「組子」と駒が創り出す幾何学模様の面白さと、図形の出来る楽しさを明るく表現しました。

部屋に飾ればきっとグレープの香りがしてくるでしょう。



〈構想図〉



〈組立図〉

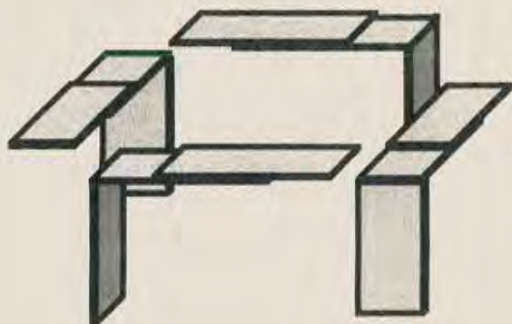


## 仲良し四人組のための勉強机～世界は支えあい大切です!～

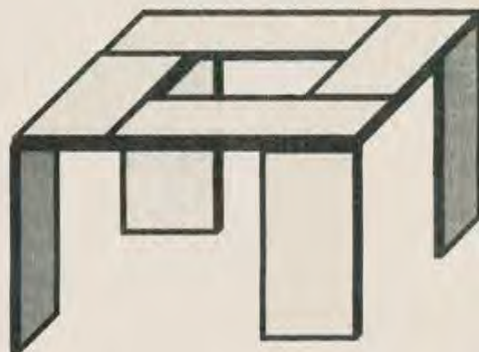
内藤 茂樹 ないとう・しげき●兵庫県/40歳

- ◆子供用の勉強机（テーブル）です。  
カラフルな色使いで子供の興味を惹きます。  
単調にならないように、平面の一部と木口は無塗装にしました。
- ◆組立式です。  
組立のときも少し頭を使いますが、これも子供の興味をそそります。
- ◆作品にこめた思い  
4つの同じ形状のパーツが絶妙なバランスで支え合って1つのテーブルを成立させている  
点に、支え合いとバランスの重要性を投影させました。

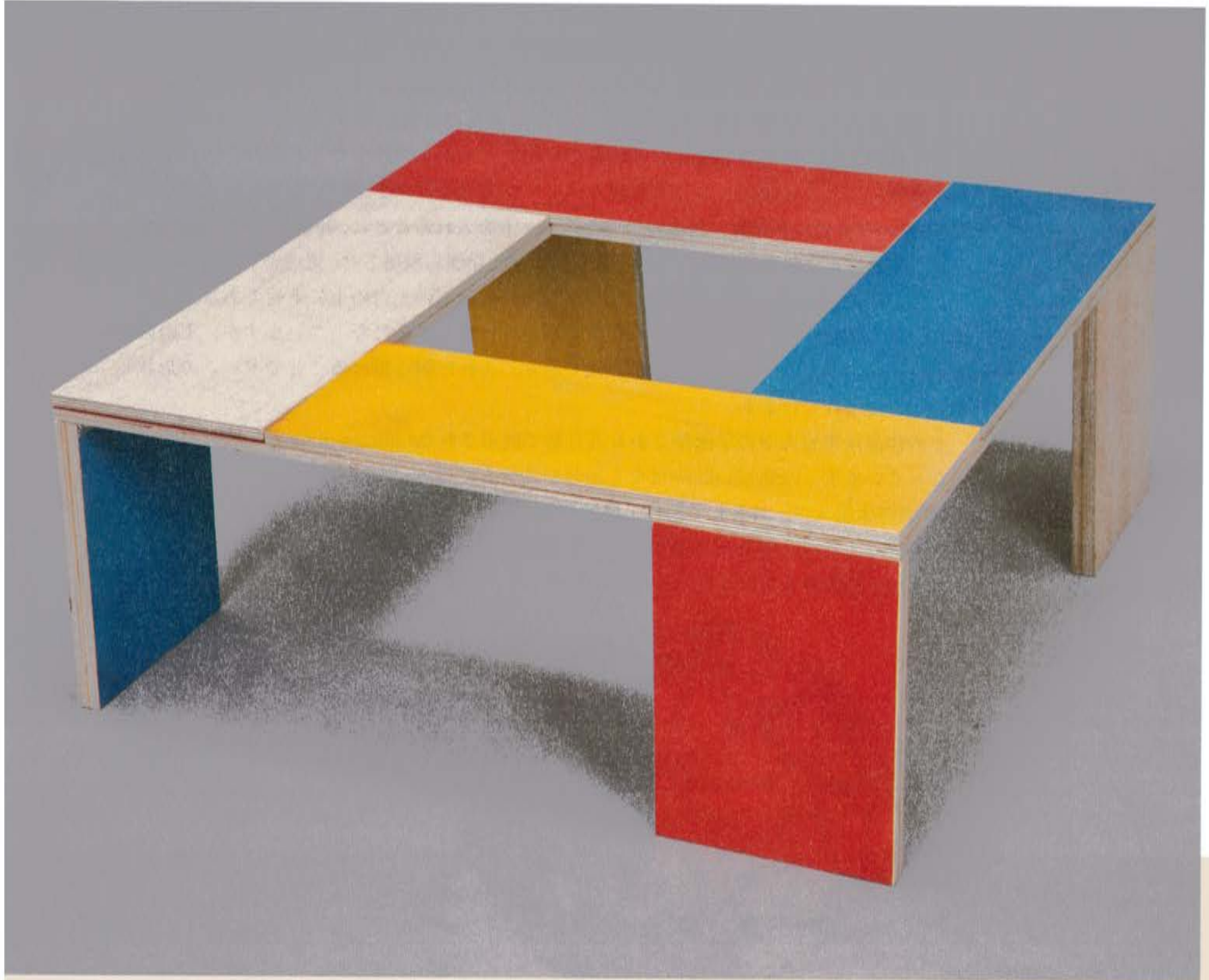
4つのパーツが  
ともに支えあって・・・



4人の勉強机に  
早変わり!



〈構想図〉



# lotus lamp

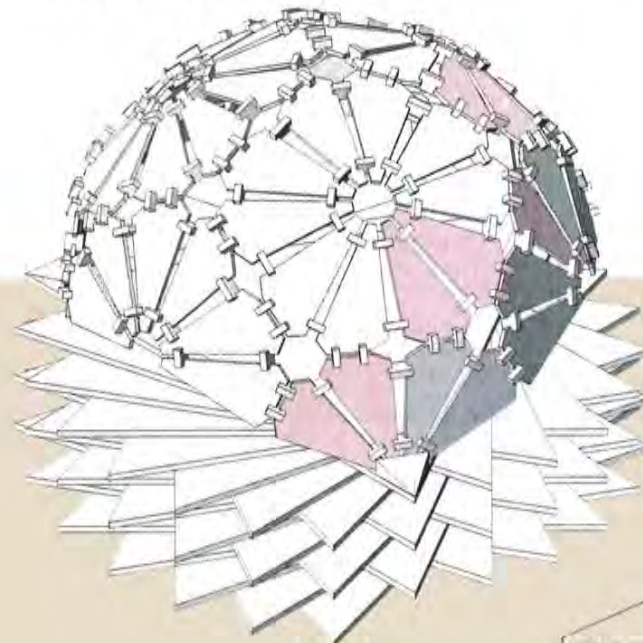
中 太郎 なか・たろう●東京都/24歳

lotus lampは、繊細なハスの花 (lotus) をイメージしたランプシェードです。

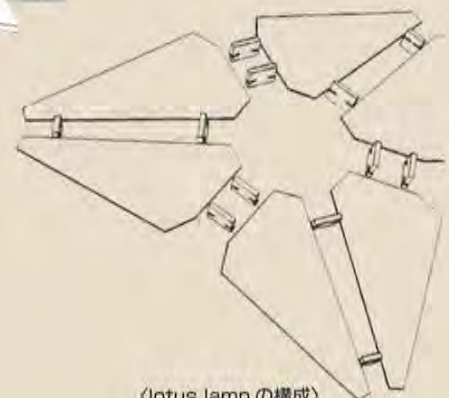
半球状のドーム部分は、面となる2.3mm厚のラワン合板とつなぎとなる4mm厚のシナ合板がそれぞれ1種類、5種類のみで構成される単純なシステムで成り立っています。面材は直角三角形の頂点を切り落とし、つなぎ材には角度をつけたスリットを入れ、これらを規則的に嵌め合わせていくことで自然にドームの形状ができあがり、かつドームの表面には大小の隙間によって花びらのような模様が浮かび上がります。加工においては、1cm四方のつなぎ材に角度のついたスリットを入れることに、非常に苦労しました。

土台部分は正三角形に切ったシナ合板を回転させながら積層させ、電球がドームのちょうど中心付近に来るように穴を開けました。ドームはこの土台の上に乗せてあるだけであり、取り外しが可能なため電球の交換も容易に行えるようになっていますが、土台の最上段にはさりげなく開き止め材をつけてあり、これに引っ掛けることでドームの形状が美しく保たれています。

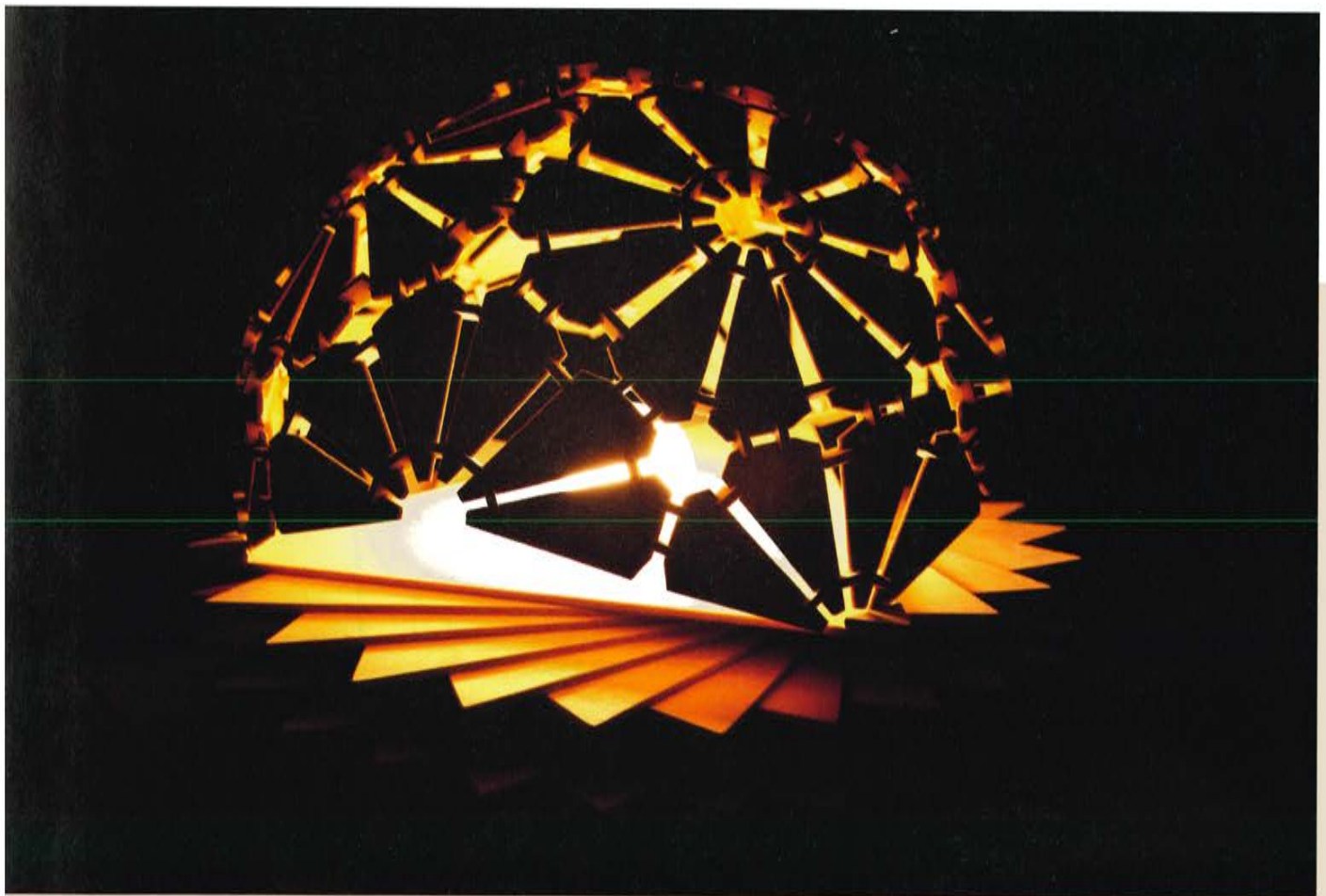
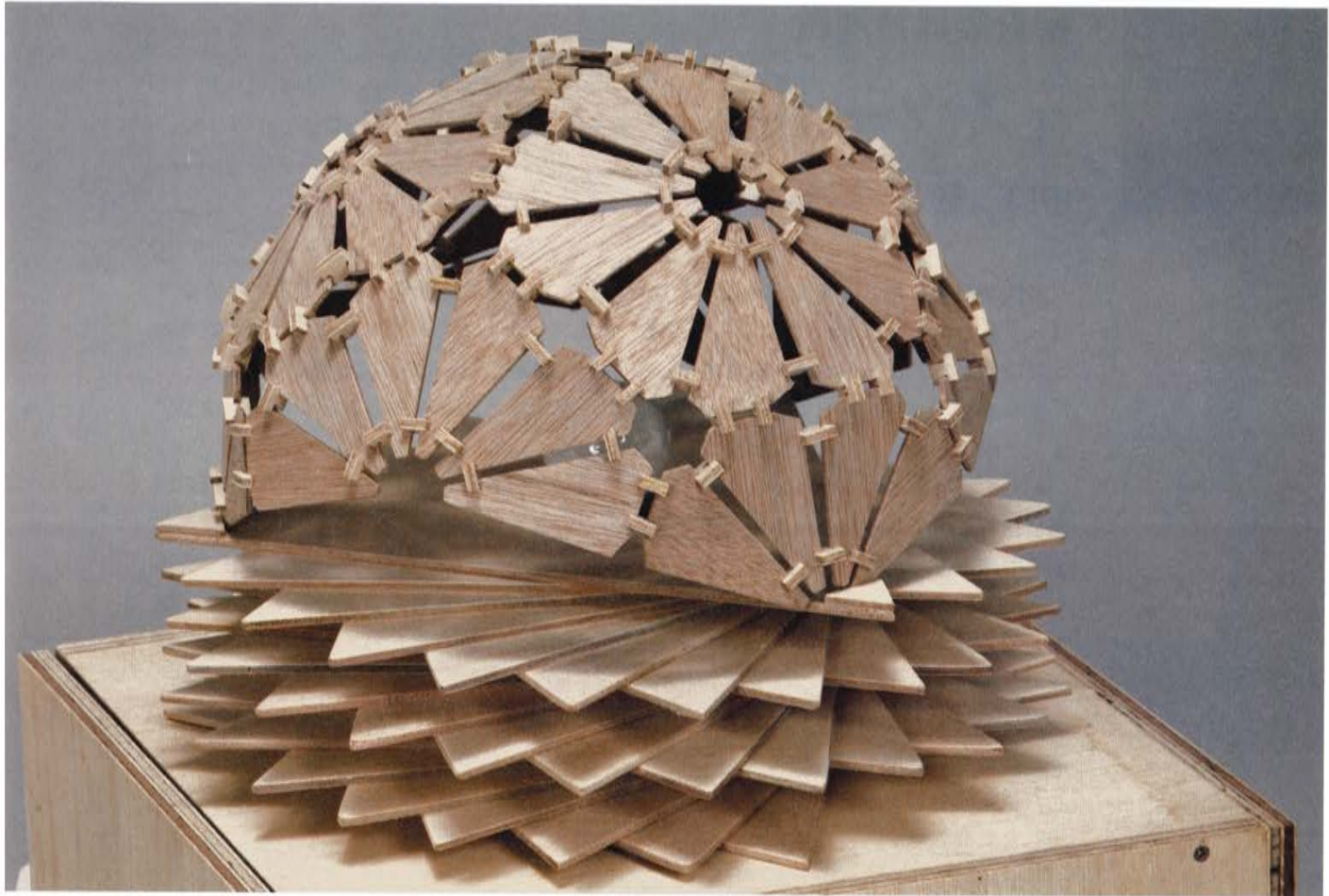
この作品は東京大学の学園祭である五月祭で展示されたrafflesia domeという作品が元になっています。rafflesia domeは全く同じシステムで12mm厚のラワン合板30枚を使い、直径6mの休憩スペースとして制作・展示されました。同じ合板を用いて、全く大きさも印象も異なる作品を作り出せること、しかもそれがどちらも人の手によって作れるということは、合板のよさではないかと思います。



〈構想図〉



〈lotus lamp の構成〉



## aツール

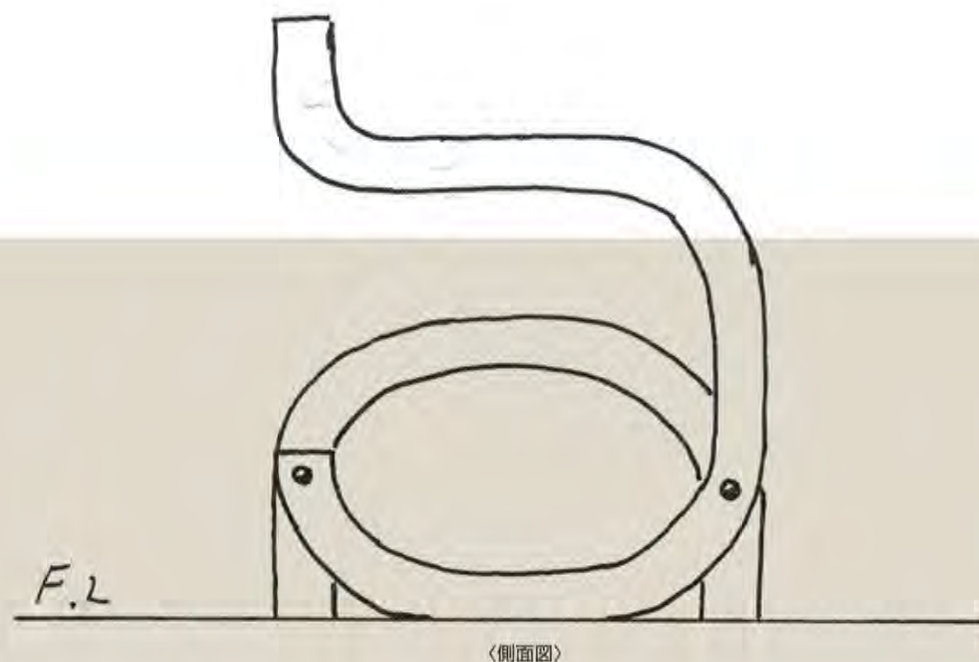
田口 悠人 たぐち・ゆうと●東京都/18歳

座面が組まれるところを内側のパーツだけにすることで座面の木端面が見えなくなりはっきりとスマートなaの形になったこと、あえてボルトでとめてアクセントにしたことがこの作品のアピールポイントです。とてもいい雰囲気に仕上がったと思います。

アルファベットに座っていたら面白いのではないかとふと思ったことがきっかけでアルファベットに座るというコンセプトにしました。

そして、どのアルファベットが座ることに適しているかを考え始め、サブロク板の範囲で作れる大きさか、限られた日数で作る事ができる難易度か、その中からサブロク板の範囲内で作った時に一番クオリティを上げられるのはどれかなどのことからaが一番適していると思いました。大まかな作業工程はルーターでaの形になる部分をくり抜き、座面となる材を加工して、ボール盤で穴をあけてボルトで留めました。苦労した点は、座面のウェーブをつけることです。

授業の一環でこのコンペに応募したのですが、夏休みと明けてからの1カ月で製作することは他の課題も並行してやっていたので大変でしたが、すごく楽しく作業が出来ました。完成したときは満足感でいっぱいでした、さらに入賞という結果も出てとても充実した気持ちです。







## 曲下駄

荒井 佑一 あらい・ゆういち●東京都/18歳

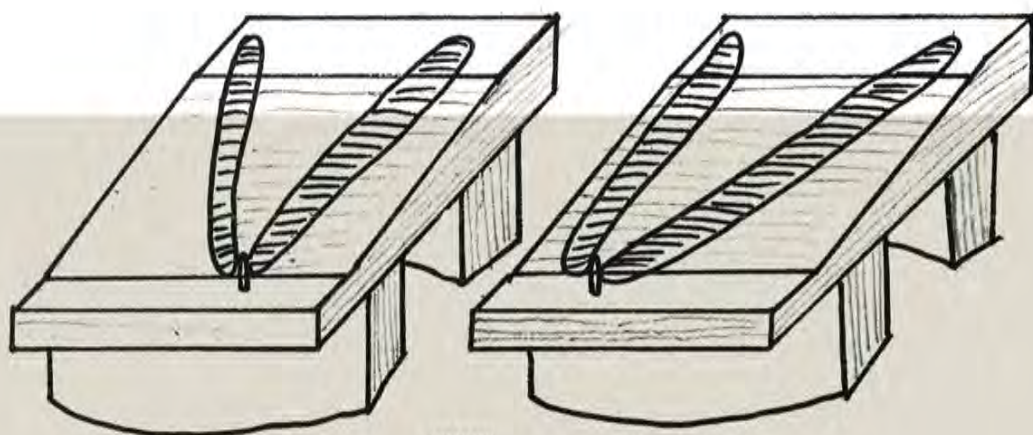
「曲下駄」は六月中旬から九月一杯の週二時間の授業と放課後で製作したものです。使用した材はラワン合板です。

合板の層の美しさや、曲げる加工ができるという点に着目し、それらを活かした作品づくりを心がけました。

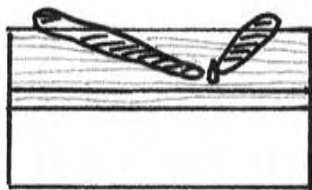
「曲下駄」の名前の由来は半円状の歯です。細かく切断した合板を接着して積層し、ベルトサンダーで削り半円状にします。それに合うように濡らした合板をアイロンで熱し、徐々に曲げていきます。それら二つの材を圧縮し、接着する事によって歯を製作しました。この作品を製作する上で最も苦難した点は、台の傾斜です。直接足に触れ、最も履き心地を左右する点だと考えたので、納得のいくまで何度も模型を作り検討しました。

鼻緒には接着芯を使い硬さを加え補強し、型崩れを防ぐ事を考えました。張りをもたせる事で、美しいシルエットを作ります。

心地よい音と粋な雰囲気です。「和」を楽しむ事が出来ます。履いて合板のあたたかみを、脱いで合板の美しさを感じることが出来る、自信の作品です。



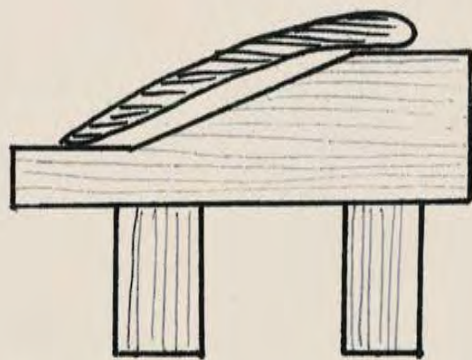
〈構想図〉



60

〈正面図〉

120



30

30

230

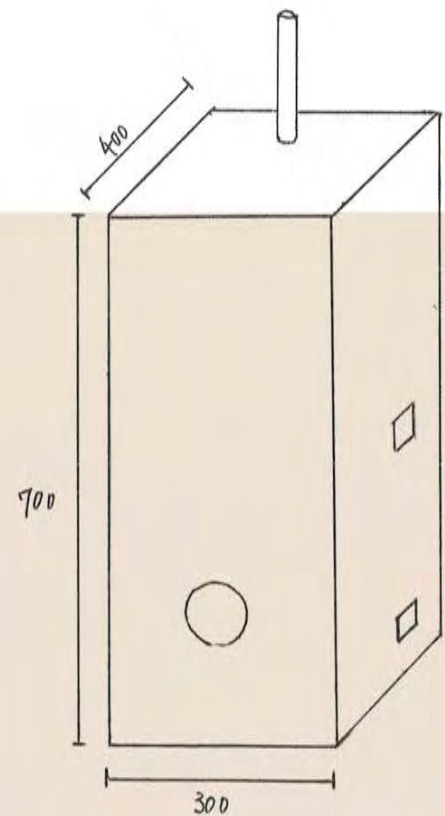
〈側面図〉

奨励賞

シャ・ボン

四宮 藍 しのみや・あい●東京都/16歳

この作品はふいごの仕組みを利用しました。棒を上下に動かすことで、シャボン玉を作り出すことができます。この装置は空気を利用するので機密性が重要となり、部材を直角に接着し、すまなく組み立てるのにとっても苦労しました。



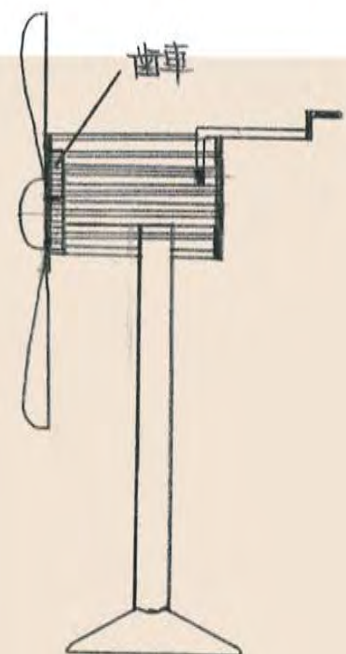
〈構想図〉

# 手動扇風機

北村 峻基 きたむら・としき ●静岡県 / 17歳

この作品をつくる上で一番難しかったのは、歯車です。何度も試行錯誤を重ねてうまく回るように微調整していく作業はとても大変でした。

この作品は「曲線美」を生かす為にプロペラ、歯車、軸などのさまざまな所に曲線を取り入れています。円は中心をしっかりとらないと曲がってしまうので合板だけで行うのはとても大変でしたが、正確につくる事ができました。



〈側面図〉

# charm

菊間 彩日 きくま・あやか●東京都/17歳

不気味な手に綺麗なアクセサリーを持たせたらより美しく見えるのではないかと思います。合板のメリットは、積層させることにより狙ったところに思い通りに模様を出せることだと思います。

この作品は特に手首や指先に不可思議な模様を浮かび上げました。削るとバリが酷く出来たため、切削した面をいかに綺麗に魅せるかに意を注ぎました。



〈構想図〉

W 8cm D 17cm H 8cm

奨励賞

## 眠れる森の美女の城

名古屋聾学校産業工芸科専攻科2年

●愛知県／20歳 〈共同制作者〉厚地紗有加、石川達也、榊原香菜

学校の修了研究という授業で城を作ろうと思い製作をはじめました。卒業製作となるので是非このコンペに応募したいと考えて、合板で作ろうと思いました。見どころは、合板で立体的な城を作ったということです。塔の部分を作るときには、何回も合板がはがれ落ち、なかなか円柱状にならずに苦労しましたが、3人で協力し合い完成することができました。



奨励賞

## 樹の棚

小竹 利幸 こたけ・としゆき●島根県／19歳

一番のアピールポイントは、合板を使用するため、作品の外見が垂直・水平になりがちですが、曲線を多用することで今回の作品だけにとどまらず、様々な形をデザインできる発見をした点です。

樹木のような外観をイメージしているので自由な曲線を多用しました。そのため、ジグソーで合板をカットすることに時間がかかり苦労しました。



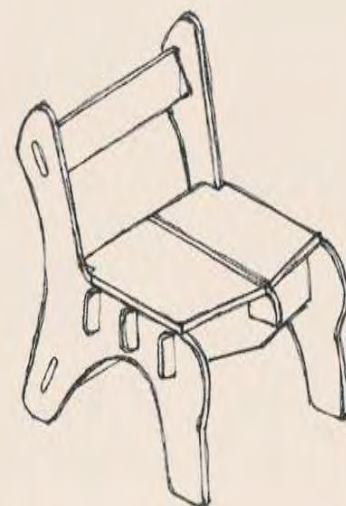
## 奨励賞

# もくもくチェア

平間 慎吾 ひらま・しんご●山形県/23歳

杉の特徴である柔らかさや温かみ、芳香を損なうことのないよう無塗装で仕上げました。さらに杉の色は日本人の肌の色に近いことから視覚的にも落ち着いたあたたかい印象を与えます。

製作に関しては相欠き継ぎとほぞ継ぎのみを用い、釘など金物を使わない比較的容易に作ることでできる構造にしました。また特殊な工具を使用しないため、誰でも作れる再現性の高いものとなっています。



〈側面図〉

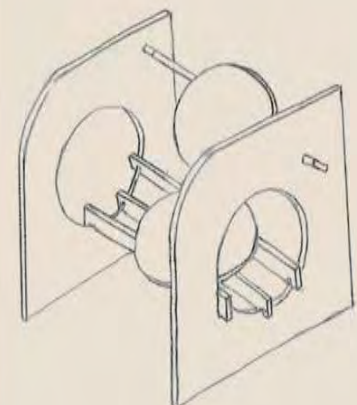


奨励賞

## 木組みチェア

木下 雄貴 きのした・ゆうき●埼玉県/21歳 〈共同制作者〉岸野雅之、高田大志、堀田祐貴

子どもの頃に遊んだ型抜きあそびのイメージと、合板の特徴である厚み方向の精度の高さを活かしたディレクターズチェアを製作しました。接合具を使わず全て相欠きとし、分解・組み立てをできるようにしたことで、1枚の合板から型抜きでつくられたような製品に仕上げることができました。改良の結果、最初の設計とは多少形状を変更しています。



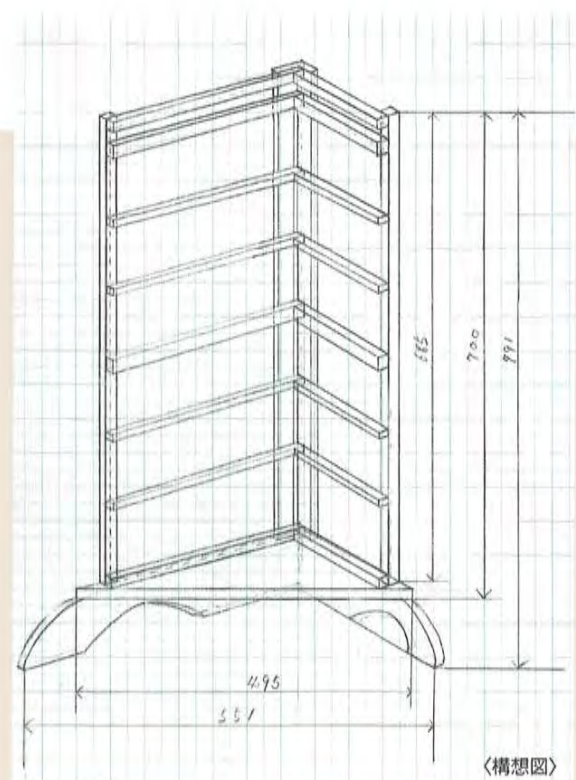
〈構想図〉

# 彩・リビングラック

杵村 江 きねむら・こう ●東京都/23歳 〈共同制作者〉松田仁志

「合板自体を生かす」事と「シンプルで使いやすい製品」をテーマに製作を行いました。  
合板には、断面の美しいシナ・アピトン合板とベーパーウッド合板を使用し、その断面を積極的に見せるデザインとしました。

また、動かして好みの所にかけて使用できる棚板や、リビングのコーナーにピッタリの形状、軽くて模様変えをしやすいことなどで、「シンプルで使いやすい」を実現しました。



2014  
Collection  
of plywood  
works

努力賞

## BOX

村上 一馬 むらかみ・かずま●東京都/17歳

1つと見せかけて2つに見せるようにしっかり調整し、中の空洞をきれいにドーム状にし、側面をやすりでつるつるにするようにしっかり磨きました。重さがありますが、コンパクトで1つにまとまります。



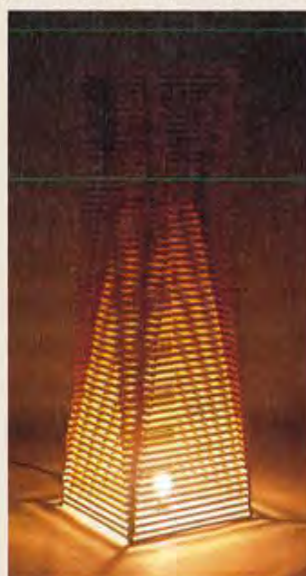
2014  
Collection  
of plywood  
works

努力賞

## Calm Light

永瀬 春花 ながせ・はるか●島根県/18歳

コンクリートで造られた学校の校舎はとても寂しいイメージをもちました。そんな校舎の中で、少しでも暖かみを感じてもらいたいと思いつくりました。



針葉樹合板の切り口がサンドイッチのようになっていてきれいだったので、この模様を生かしたいと思いました。

また、木の香りも心が落ちつく香りなので、注目してもらいたいです。合板を全て使うように努力しました。

2014  
Collection  
of plywood  
works

努力賞

## シンプルダナ

相澤 啓介 あいざわ・けいすけ●宮城県／18歳 〈共同制作者〉久本貴士



この収納棚の特徴は、全体的に歪んでいるところ。また、水平・垂直にとらわれず斜めにデザインし、ブックスタンドを使わなくても本が倒れないところです。

斜めに組むにはどうすれば良いか考えたところ、切り口を斜めにすれば良いと考えました。1/20くらいのサイズで切り口の角度の確認を何度も行い、調整を繰り返したところにより隙間が生じずきれいに収まりました。

2014  
Collection  
of plywood  
works

努力賞

## 作業台

吉田 出海 よしだ・いずみ●神奈川県／15歳

この作品で工夫したところは、作業台の足を合板で再現できるように、コの字やLの字にしたところです。また、わきに工具を置いたり、本や資料をたてかけられるようにしたものをつけたところです。



努力賞

## 森谷聡の棚

森谷 聡 もりたに・さとし●神奈川県／12歳

この作品を製作した理由は、えんぴつ立てが良く倒れるのと、机の上がまとまっていなくて乱雑になってしまうため掃除のときに棚とえんぴつ立てが一体だと便利だからです。移動する際に引き出しが落ちてしまわないように工夫しました。部品が多く作り直しをした部品もありますが、何とか作りあげることができました。



努力賞

## 楽ラック

田丸 星也 たまる・しょうや●神奈川県／18歳 〈共同制作者〉佐藤康雄



作品の良さは、縦・横・斜めに自由に置いて楽しめることです。

クギ等を使用していないので楽に組み立てられますが、そのかわりにはめ込みに誤差があると組めないで、正確にほぞを作るのに苦労しました。正確に組むのが大変で、「楽ラック」が四苦八苦になりました。

努力賞

## WOODセル

上野 克博 うえの・かつひろ●宮城県/17歳



合板1枚で作るという条件で何を作ろうか考えていると、弟のランドセルを思い出して今回のコンペに合板でできたランドセルを作りました。

何と言っても木100%でできたランドセルはインターネットで調べても項目が無く、木のランドセルを見た人があまりいないのではないのでしょうか。

木のランドセルと言っても普段のランドセルとあまり変わらないサイズでA4も楽々スッポリ!

最も工夫したことは「曲線」です。ランドセルにおいて曲線はランドセルのカバーとか

背負う部分といった、いろんな箇所に求められています。そこで私はランドセルによりよく近づくためにランドセルの側面を丸くし、曲がる部品をラワン合板にしました。

老若男女誰でも木の肌を感じてランドセルを背負ってみてはいかがでしょうか。

努力賞

## 滑り棚

澁谷 聡志 しづや・さとし●宮城県/17歳

工夫した所は、子どもがぶつかっても怪我をしないように角をしっかりと面取りをしました。さらに、滑り台の滑る面だけでなく、触っても痛くないように全体的にやすりがけをして表面を滑らかにしました。

また、少しでも多くの人が使えるように階段の各部分に余った部材を利用して補強材を入れ強度を上げました。他には、滑る面に曲がる合板を使用して滑らかに滑れるようにしました。

苦勞した所は、階段の踏板の部分です。板の重さで徐々に斜めになってくるので、どうすれば下がらないかを考えた所、補強材を入れれば下がらないということを思いつきそれを実行しました。また、滑る面の曲がる部分の形の維持は手で曲げて癖をつけました。



努力賞

## 合板カヌー

國吉 裕貴 くによし・ゆうき●東京都/16歳

この「合板カヌー」の良さは前と後ろの部分にフレームを付けてかっこよく、より船らしくした所です。製作の上で骨組みの長さなどを計算するのが大変でした。釘を板に打つ時、板が硬くてうまく打てなかったことが苦勞しました。



●日刊木材新聞記事  
(2014年12月5日掲載)

## 木材・合板の多様性を表現

### 応募166作品で32点が入賞

#### 第3回合板1枚・作品コンペ

第3回全国合板1枚・作品コンペの表彰式が11月30日、東京都内で開かれた。開催場所を第1、2回の島根県から関東に移し、奥村卓三氏の「花は咲く」が最優秀賞（林野庁長官賞）を受賞した。主催は日本木材加工技術協会と日合連、木材・合板博物館で、協賛団体は田部謝恩財団。



最優秀賞を受賞した奥村氏(左)

同コンペは合板を1枚使った工芸的作品を募ることで、木材・合板の持つ多様な性質を広く伝えていく取り組み。今回は1次応募で85点、2次で81点の



最優秀賞受賞作品「花は咲く」

作品が集まり、32作品が入賞した。同コンペは「木育」を推進する島根大学の山下晃功教授が創設、事務局を横浜国大に移した今回は、「合板1枚・作品コンペ発祥の地」島根「賞」とともに山下氏の名前を冠した「山下晃功 木育」賞も新たに設けられた。

同コンペ実行委員長の小林大介横浜国立大学准教授は、「木材・合板の持つ強さ、美しさ、やさしさ、面白さ、ユニークさが入賞作には含まれ、どの作品にも感動した」とあいさつ。来賓の小島孝文林野庁木材産業課長は「国産材を使う時代になったが身の周りからは木材が減り、日本の地方を元気にする必要性も高まっている。応募作品には木材利用のアイデアが含まれている」と述べた。

また主催団体である日本木材加工技術協会の服部順昭会長は「入賞作品を見てびびくり、その発想の豊かさ、柔らかさに初めてコンペの意義に気付かされた」と率直な感想を述べた。

長は「合板メーカーは1分間に250枚の合板を作っているが、その1枚がこのように姿を変えられるかと、人の無限の可能性を見た。合板の新たな価値を我々製造者側が教わったという、その独創性に敬意を表したい」と話した。

また協賛団体の田部謝恩財団の又賀航一理事長は、閉会のあいさつで「作品には日本人の感性、創意工夫が発揮された。回を重ねるごとに作品も増え、アジアや世界規模でのコンペも夢ではないはずだ」と語った。

※新聞記事に訂正箇所があり、正確には以下の通りです。

- ・応募作品は、第1次応募で85件、そのうち81件が第2次応募に応募した。
- ・主催団体には、日本合板商業組合も含まれます。
- ・協賛団体は、他に8団体で、計9団体より協賛いただきました。



# 新聞記事

## ●林政ニュース記事

(2014年12月17日掲載)

### ニュース・フラッシュ

#### 長官賞に「花は咲く」、第3回全国合板1枚・作品コンペ

3回目となる「全国合板1枚・作品コンペ」の表彰式が11月30日に東京都江東区の新木場タワーで開催された。今回は、全国から85件の応募があり、32件が入賞。最優秀賞である林野庁長官賞には、鳥根県の奥村卓三氏(72歳)による「花は咲く」が選ばれた。同作品は、東京オリンピック・パラリンピックの開催決定にちなんで五輪のマークをモチーフにしてつくられた鉢カバーで、合板で繊細な「花」が表現されている。

同コンペは、合板の多面的な魅力を引き出すそうと、日本木材加工技術協会中国支部の山下晃功支部長(鳥根大学名誉教授)の発案によりスタート。第1回(平成22年)と第2回コンペ(24年)は鳥根県で開催されたが、今回から東京に事務局を移して実施し、新たに「合板1枚・作品コンペ発祥の地 鳥根」賞と「山下晃功 木育」賞を創設した。

同コンペの実行委員長である横浜国立大学の小林大介准教授は講評で、「日本の技術教育の中で、木材の性質を勉強する時間は限られている」と指摘した上で、「ぜひ小学生や中学生のみならずにも合板に触ってもらい、合板のよさを知ってもらいたい」と話した。最優秀賞以外の主な入賞者と作品は、次のとおり。



最優秀賞を受賞した  
「花は咲く」

白鳥孝氏「ZENI CUBE」  
祖父江淳志氏「星形テーブル  
&イス」▽特別賞「厚地紗有  
加氏「15匹猫」、菅田英武氏  
「グレイプの壁飾り」

日本木材加工技術協会会長賞「門田祥吾氏「水槽」(倉澤實徳  
ザイン賞も同時受賞)▽日本合板工業組合連合会会長賞「吉原直樹  
氏「アーチチェア」▽木材・合板博物館理事賞「砺波浩二氏「T  
DB-50」▽「合板1枚・作品コンペ発祥の地 鳥根」賞「横尾か  
な氏「板月(はんげつ)」▽「山下晃功 木育」賞「鳥根大学教育学  
部附属小学校ちどり造形クラブ「附小看板(校長室、図書館、夢が  
広がる図工室)」▽優秀賞「

※新聞記事に訂正箇所があり、正確には以下の通りです。

- ・ちどり造形クラブの作品名は、「附小看板(校長室、図書館、夢が広がる図工室)」
- ・祖父江淳志氏の作品名は、「星型テーブル&イス」
- ・菅田氏の名字表記は「菅田」

●山陰中央新報記事  
(2014年12月30日掲載)

林野庁長官賞を受賞した奥村卓三さんの作品「花は咲く」



市乃白町の奥村卓三さん(72)の写真が最優秀である。奥村卓三さん(72)の写真が最優秀である。奥村卓三さん(72)の写真が最優秀である。

# 松江の奥村さん最優秀

## 全国合板1枚・作品コンペ

### 曲線生かす独特の形状

合板を利用した作品のアイデアを競う「第3回全国合板1枚・作品コンペ」がこのほど東京であり、松江市乃白町の奥村卓三さん(72)の写真が最優秀である。奥村卓三さん(72)の写真が最優秀である。

工技術協会、日本合板工業組合連合会などが主催。過去2回は隔年で島根大学の山下晃功名誉教授が実行委員長となって県内で開かれ、2012年に木材業界が11月3日を「合板の日」と定めたことを受け、合板の日の記念行事の一つとしてことしから開催地を東京に移した。

板1枚(厚さは規定なし)を自由に加工し、オリジナルの作品を作るルールで、全国から約80点の応募があり、32点が入賞した。奥村さんの作品「花は咲く」は直径58センチ、高さ38センチの花台。厚さ12ミリの合板をさまざまに大きさに切り抜いて重ね合わせ、曲線を生み出した独特の形状を生み出している。

奥村さんは「ものを作るのが好き。次回もコンペに出品するかどうかは分からないが、木工はこれからも続けていきたい」と話した。コンペではほかに、島根大付属小学校(松江市)のちどり造形クラブの作品「付属小看板(校長室、図書室、夢が広がる図工室)」が、山下晃功木育賞を受賞した。

※新聞記事に訂正箇所があり、正確には以下の通りです。

- ・ちどり造形クラブの作品名は、「附小看板(校長室、図書館、夢が広がる図工室)」

# 雑誌記事

●ドゥーパ！（2015年2月号・第104号・株式会社学研パブリッシング）

特別入門シリーズ

*A plywood stimulates your creativity!*

## 合板木工 が面白い!



「合板木工」は、身近な材料で、手軽に始められるDIYの楽しさを伝えるための特別入門シリーズです。今回は、合板木工の魅力と、その楽しさを伝えるための特別入門シリーズです。

合板は身近なDIY素材だが、物置や小屋の壁下地、床下地、屋根下地など大ぶりの物作りに使われるイメージが強いだろうか？ そのほかに思い浮かぶ合板作品といえば、せいぜいシンプルな箱や棚……？ いやいや、それではもったいない。実は合板はDIYerの創造性を刺激してくれるオモシロ素材。その特性を生かした木工の楽しさに触れてみよう。

取材協力：「合板木工」の魅力を伝えるための特別入門シリーズです。お問い合わせ先は、学研パブリッシング編集部。TEL: 03-5561-3111。URL: <http://www.gakken.com>

099

*A plywood stimulates your creativity!*



「合板木工」の魅力は、身近な材料で、手軽に始められるDIYの楽しさを伝えるための特別入門シリーズです。今回は、合板木工の魅力と、その楽しさを伝えるための特別入門シリーズです。

「合板木工」の魅力は、身近な材料で、手軽に始められるDIYの楽しさを伝えるための特別入門シリーズです。今回は、合板木工の魅力と、その楽しさを伝えるための特別入門シリーズです。

「合板木工」の魅力は、身近な材料で、手軽に始められるDIYの楽しさを伝えるための特別入門シリーズです。今回は、合板木工の魅力と、その楽しさを伝えるための特別入門シリーズです。

101

*A plywood stimulates your creativity!*



「合板木工」の魅力は、身近な材料で、手軽に始められるDIYの楽しさを伝えるための特別入門シリーズです。今回は、合板木工の魅力と、その楽しさを伝えるための特別入門シリーズです。

「合板木工」の魅力は、身近な材料で、手軽に始められるDIYの楽しさを伝えるための特別入門シリーズです。今回は、合板木工の魅力と、その楽しさを伝えるための特別入門シリーズです。

「合板木工」の魅力は、身近な材料で、手軽に始められるDIYの楽しさを伝えるための特別入門シリーズです。今回は、合板木工の魅力と、その楽しさを伝えるための特別入門シリーズです。

100

### A plywood stimulates your creativity!

**設計例に  
参考しよう!**

#### 合板の種類いろいろ

シナ合板	実用面化粧合板 (3mm・5mm)	ツラツ合板	特殊加工合板 (化粧合板)
3mm厚化粧合板 (ツラツ合板)	コンクリート型枠用合板 (標準型)	特殊加工化粧合板 (5mm・7mm・9mm・12mm・15mm・18mm・21mm・24mm・27mm)	特殊加工化粧合板 (5mm・7mm・9mm・12mm・15mm・18mm・21mm・24mm・27mm)
ツラツ合板の厚さ(12mm・15mm・18mm・21mm・24mm・27mm)	実用面化粧合板の厚さ(3mm・5mm)	コンクリート型枠用合板の厚さ(12mm・15mm・18mm・21mm・24mm・27mm)	特殊加工化粧合板の厚さ(5mm・7mm・9mm・12mm・15mm・18mm・21mm・24mm・27mm)

ホームセンターで買える合板といえば、シナ合板、ツラツ合板、特殊加工化粧合板、コンクリート型枠用合板など。  
シナ合板は、実用(表面の板)にシナ材を使ったもので、白く、キズ耐性が高いが耐水、上記4種の中では最もコストが安い。  
ツラツ合板は、表面にツラツ材(薄皮材)を使い、経年変化を抑える。シナ材に比べれば木目は隠れて、色味は薄い。  
特殊加工化粧合板は、建築用の特殊加工で使われるので、用途が広い。これはツラツ材の厚さが多いため、表面で加工されたものを売っている。以上のシナ合板、ツラツ合板、特殊加工化粧合板は用途がいろいろあるが、さまざまな用途に使えます。  
コンクリート型枠用合板は、また用途は建築現場などで、同じようなものもあるが、いわゆる「ツラツ」合板と同じようなものがあっても、コンクリートの水が染み込んでしまうスチールプレート並に使用はできません。  
そのほか、実用面化粧合板は、水酸化カルシウムや、亜硫酸カルシウムを塗布して防腐剤が塗られていますが、非塗合板は塗料の耐用年数を気にする必要はない。また、合板は同じような用途に使うように用途別に分けておきたい。

### A plywood stimulates your creativity!

**設計例に  
参考しよう!**

#### 合板の種類いろいろ

「合板」は、木材の繊維が縦横に交差して、強度が向上している。そのため、曲げると反りが生じる。この反りを活かして、さまざまなデザインが生まれる。例えば、椅子の背もたれや、テーブルの脚など、反りを活かしてデザインが生まれる。また、反りを活かして、椅子の背もたれや、テーブルの脚など、反りを活かしてデザインが生まれる。

### A plywood stimulates your creativity!

**これだけ知って  
覚えておきたい!**

#### 合板の「切断」、「接合」基本テクニック

##### 切断テクニック

**01 簡易ガイドを使い**  
ガイドを使うと、切断の精度が上がり、作業が楽になります。ガイドは、切断の方向を指示する役割を果たします。

**02 自作ガイドを使い**  
自作ガイドは、切断の精度をさらに上げることができます。自作ガイドは、切断の方向を指示する役割を果たします。

**03 捨て板を敷いて切る**  
捨て板を敷いて切ることで、切断の精度が上がり、作業が楽になります。捨て板は、切断の方向を指示する役割を果たします。

##### 接合テクニック

**01 木口を接合する**  
木口を接合することで、接合の強度が上がり、作業が楽になります。木口は、接合の方向を指示する役割を果たします。

**02 一方の板を固定して切る**  
一方の板を固定して切ることで、切断の精度が上がり、作業が楽になります。一方の板は、切断の方向を指示する役割を果たします。

**03 ユニバーサルジョイントを使う**  
ユニバーサルジョイントを使うことで、接合の強度が上がり、作業が楽になります。ユニバーサルジョイントは、接合の方向を指示する役割を果たします。

### A plywood stimulates your creativity!

**設計例に  
参考しよう!**

#### 合板の種類いろいろ

「合板」は、木材の繊維が縦横に交差して、強度が向上している。そのため、曲げると反りが生じる。この反りを活かして、さまざまなデザインが生まれる。例えば、椅子の背もたれや、テーブルの脚など、反りを活かしてデザインが生まれる。また、反りを活かして、椅子の背もたれや、テーブルの脚など、反りを活かしてデザインが生まれる。

# フォトグラフ

## 審査会



1次審査



2次審査



## 表彰式



会場：新木場タワー



副賞(トロフィーならびに盾)



林野庁林政部木材産業課長挨拶



公益社団法人日本木材加工技術協会会長挨拶



日本合板工業組合連合会会長挨拶



一般財団法人田部謝恩財団理事長挨拶



表彰



入賞者挨拶



ビデオレター



作品展示



集合写真

# 募集チラシ

地球環境のために 合板を使おう！

木質材料の代表格「合板」は21世紀の「環境新時代」にふさわしい、地球に優しく、持続可能な天然循環資源を原料にして製造されています。また、最新の木材加工技術により高い性能と品質を持ち、私たちの生活になくてはならない建築、生活資材でもあります。この地球環境にも良い合板の強さ、美しさ、優しさ、面白さ、ユニークさ、繊細さなど多面的な合板の魅力を、みなさんの力によって引き出しましょう！

全国合板1枚・作品コンペはプロのクラフトマン・デザイナー・アーティストなどあらゆるジャンルのクリエイターそして小学生から大学生までの全年齢を対象としたコンペティションです。

1800

910

第3回  
ごうはん

## 全国合板1枚 作品コンペ

1次応募  
期間

平成26年  
8月25日(月)～9月12日(金)

作品の書類のみお送りください。

2次応募期間：  
平成26年9月24日(水)～10月10日(金) 必着

※1次応募(書類選考)で、選ばれた方は、  
2次応募で作品の実物を提出し、審査を行います。

- 表彰 最優秀賞 (林野庁長官賞) 副賞：賞金20万円 1件
- 公益社団法人 日本木材加工技術協会会長賞 副賞：賞金7万円 1件
- 日本合板工業組合連合会会長賞 副賞：賞金7万円 1件
- NPO法人木材・合板博物館理事長賞 副賞：賞金7万円 1件
- 「合板1枚・作品コンペ発祥の地 鳥根」賞 副賞：賞金7万円 1件
- 「念願賞 デザイン」賞 副賞：賞金5万円 1件
- 「山下晃功 木育」賞 副賞：賞金3万円(図書カード) 2件\*
- 優秀賞 副賞：賞金3万円 2件 特別賞 副賞：賞金2万円 2件

※1 小学生・中学生を有効とした賞です。

※高校生(高専3年生以下を含む)以下が受賞した場合、賞金ではなく同額の図書カードを贈呈します。小学生、中学生、高校生、高専生、大学生、特別支援学校生などはそれぞれの教育課程の特性を配慮して審査します。また、この他に奨励賞・努力賞(副賞図書品)を設けます。

※会費は平成26年11月30日(日) 木材会館地下版(東京・都本館)で行います。

●ホームページ

<http://gouhancompe.jp>

●送付先・事務局

〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区  
常盤台 79-2 横浜国立大学教育人間科学部  
技術教育課 小林大介(こはやし たいすけ)  
電話 045-339-3445 FAX 045-339-3345  
E-mail kobadai@ynu.ac.jp

●主催団体/公益社団法人 日本木材加工技術協会、日本合板工業組合連合会、NPO法人 木材・合板博物館、日本合板商業組合  
協賛団体(予定) / 一般財団法人 田部駒恵財団、合成樹脂工業協会、接着剤研究会、一般社団法人 日本木工機械工業会、公益財団法人 日本合板検査会、  
国立大学法人 横浜国立大学、木育全国生産者協議会、学研ハブリッキング刊・ドーパ川編集部、株式会社日刊木材新聞社、徳寶社 他

後援団体(予定) 林野庁、一般社団法人 日本木研学会、日本産業技術教育学会 木材加工分科会、日本木製器具研究会連合会、全日本木工技術・家庭科学研究会、公益社団法人  
全国中学校産業教育教材開発協会、一般社団法人 日本DIY協会、全国高等学校建築教育連絡協議会、一般財団法人 神奈川福祉立中等高等学校協会、一般社団法人 埼玉福祉立中  
学高等学校協会、公益社団法人 全国工業高等学校長協会、一般社団法人 全国高等専門学校連合会、阿蘇山出版株式会社、東京書籍株式会社、株式会社テック・教育 他

## 第3回 全国合板1枚・作品コンペ

### 1. 「合板1枚・作品コンペ」の開催趣旨

木質材料、木質建材の代表格「合板」が我が国に誕生して、1世紀余りになります。現在では、国内の多くの建築物には合板が使われていないものも無いと言っても過言ではありません。そして、多くの合板は、住宅の構造材料のみならず内装材、家具材料として住まいの国民生活をしっかりと大きく支えてきています。

しかし、こんなに身近に大量に使用され、住宅を支える重要な建築材料の合板であるにも関わらず、その多くは壁の中、屋根裏、床下などで裏方として世の表舞台になかなか登場することがありません。

そこで、この合板1枚・作品コンペでは、合板の魅力を目に見える形で、全面的に活かした建築材料、家具材料、造形材料、ものづくり工作材料、美術・工芸材料、生活材料、教育文化材料など広範囲な分野で、一般生活者の皆様方からお知恵をいただき、よりよい合板の魅力を発掘してもらおうとするのが趣旨です。

また、2012年に日本合板工業組合連合会及びNPO法人木材・合板博物館によって、日本で最初に合板製造が開始された11月3日が「合板の日」として制定されました。この「合板の日」制定の記念行事の重要な一つとして、合板の国民生活への必要性や重要性、さらには木質材料「合板」としての魅力や後世に引き継ぐことを目的に本コンペを実施することといたしました。

今日、「合板」は「森林・林業基本計画」の目標達成や「東日本大震災の復興」に大きく貢献しています。そして、大気中のCO<sub>2</sub>の合板への固定による地球温暖化防止に貢献し、日本の森林・林業と山村の振興に大きな期待が寄せられているところです。

さらには、合板素材の木材は、地球と人類に優しい「持続可能で再生可能な天然循環資源」でできております。

この地球環境に良い合板の、強さ、美しさ、優しさ、おもしろさ、ユニークさ、繊細さなど多面的な合板の魅力を多くの国民の皆さんによって、引き出していただきたいのです。

### 2. 審査基準

本コンペの趣旨を踏まえ、以下の項目を考慮して審査します。

- ①合板の良さ、美しさ、おもしろさが活かされているもの
- ②合板の新たな用途開拓を見出したもの
- ③合板1枚を有効に利用しているもの
- ④合板の強度特性、物理的特性を活かしたもの
- ⑤合板の利用について普及効果があるもの

### 3. 応募条件

上記の「審査基準」や下記の「作品規格」に従って、制作したオリジナルで未発表のものであること。著作権、工業所有権を侵害すると判断されたものは除外されます。応募は個人又はグループのいずれでも可能です。

「作品規格」

- ①合板1枚とは、板幅90cm×板の長さ180cmの3×6（サブロク）サイズ1枚の面積のことです。板厚は自由です。使用合板は1枚以下でも結構です。ただし、各種の板厚の合板を組み合わせて使用する場合は、合計の面積が90cm×180cm=16,200cm<sup>2</sup>になるように使用してください。
- ②傢具金具（丁番、取手、キャッチャーなど）、補助金具、接合金具などは自由に使用できます。
- ③作品に色を塗ったり、絵を描いたり、彫刻、布貼りなど表面装飾を行うこともできます。
- ④特殊な合板を製造して使用する場合は、特殊な規格の合板を使用する場合は事務局にお問い合わせください。

<留意事項>

※すべての応募作品の権利（著作権など）は制作者に帰属します。しかし、入賞、出展作品の展示及び作品典などの印刷物への使用上の権利は主催者に帰属します。※作品の返却は送料など自己負担で行っていただきます。※上位入賞作品については、主催団体および関係団体による展示場やイベント会場などの作品紹介を目的として、謝辞をお願いする場合があります。

### 4. 応募方法

応募は2段階に分けて行います。最初1次応募を書類でしていただき、その書類審査を行います。次に、1次応募で選ばれた作品について、2次応募を作品の実物でしていただき、その審査を行います。

1次応募期間：平成26年8月25日（月）～平成26年9月12日（金）必着 ※作品の書類のみをお送りください。

2次応募期間：平成26年9月24日（水）～平成26年10月10日（金）必着 ※作品の実物をお送りください。

<応募方法>

ホームページ <http://gouhancompe.jp> 上から1次応募用紙をダウンロードし、応募用紙に、作品の設計図、作品の正面、側面、平面の3方向から撮影した写真、スケッチ（フリーハンドでも可）などで作品の寸法、構造、機能や特徴を記入したものを郵送にて審査に記載の事務局まで締め切り日必着で送付してください。1次審査合格者の方は、2次審査を作品の実物で行います。各自でダンボール箱などで梱包し、所定の用紙（1次審査合格者に合格通知とともに送付します）を貼り付けて、送料応募者負担で、締め切り日必着で事務局まで送付してください。また、お送りした宅急便伝票には作品の送達先の宛名、氏名などを記入して、作品と同梱でお送りください。

### 5. 審査結果発表

1次審査結果発表：平成26年9月17日（水） ホームページ <http://gouhancompe.jp> 上で発表します。

また、1次審査合格者には、郵送でお知らせし、作品の実物を2次応募期間中に事務局まで送ってください。

2次審査結果発表：平成26年10月29日（水）10時から ホームページ <http://gouhancompe.jp> 上で発表します。

### 6. 表彰

表面記載の名賞の他、大学生以下を対象に奨励賞、高校生以下を対象に努力賞を発表します。（副賞：記念品）

### 7. 表彰式

表彰式は木材・合板博物館（東京・新木場）において平成26年11月30日（日）14時から行います。

### 8. 入賞作品展示

入賞作品を広く紹介させていただくために、表彰式と並行して入賞作品の展示を下記の期間に行います。

日時 平成26年11月30日（日）～平成26年12月1日（月） 場所 木材・合板博物館（東京・新木場）

### 9. 受賞作品の紹介

主催団体、協賛団体、後援団体が責任を持つ誌（紙）面媒体、ホームページ <http://gouhancompe.jp> にて発表します。



本報告書の新聞記事ならびに雑誌記事は、各社の許諾を得て掲載しています。  
関係各位に御礼申し上げます。

---

## 編 集 後 記

第3回全国合板1枚・作品コンペ報告書を作成することが出来ました。合板の美しさ、機能性を皆様に伝えることができれば幸いです。最後になりましたが、編集にご協力頂きました皆様方に、厚く御礼申し上げます。

---

## 第3回全国合板1枚・作品コンペ報告書

2015年2月発行

編 集  
東 原 貴 志  
田 中 孝  
寺 島 徹  
発行人  
小 林 大 介

# 2014 Collection of plywood works

第3回全国合板1枚・作品コンペ報告書